

## 島根県保健医療計画における施策の取組評価について（圏域編）

## 【5 疾病・5 事業及び在宅医療】

〈がん〉

## 1. がん予防（発生リスクの低減、早期発見、早期受診）の推進

松江	<p>○出前講座を市民、特に事業所等に積極的にPRし、働き盛り世代に生活習慣の改善に向けての正しい知識や生活に取り入れるための工夫等の情報提供を行っている。</p> <p>○がん検診チェックリストにより、両市担当者と情報交換しながら精度管理や事業評価を行っている。</p> <p>○検診の受診向上に向けた取組の実施（特に大腸がん）。 9月がん征圧月間で啓発コーナー設置（啓発チラシ）。</p> <p>○各がんの死亡や罹患状況、がん検診受診率等を分析し、両市に情報提供。好発年齢のがん検診受診率向上や精密検査受診率向上の取組について検討。</p> <p>圏域および両市におけるがんの罹患・死亡状況等を分析し、両市と共有。1次、2次予防に活かしてもらう。</p>
雲南	<p>○がん検診の啓発及び受診勧奨、促進。 （地域自主組織との協働、自己負担の軽減 等） ＜各市町、島根県薬剤師会雲南支部、保険者協議会＞</p> <p>○要精密検査者、精密検査未受診者への受診勧奨。 ＜各市町＞</p> <p>○禁煙外来の開始。 ＜平成記念病院＞</p> <p>○多様な受診方法、受診機会の提供。 （土日検診、セット検診、特定健診同日実施 等） ＜各市町＞</p>
出雲	<p>○出雲圏域健康長寿しまね推進会議の分科会を中心に、禁煙・受動喫煙防止や食生活（特に減塩、野菜摂取）、運動習慣の定着等の啓発実施。また、しまね健康寿命延伸プロジェクト事業のプラスワン活動の周知等実施。</p> <p>○市と保健所で精度管理のためのがん検診チェックリストの確認、課題等の整理</p> <p>○胃がん検診については、がん対策推進室と連携し、対策型胃内視鏡検診を市で導入。導入までの協議や実施状況共有等随時行われている。</p> <p>○商工会議所、JAしまねの広報誌に、がん検診受診の必要性等を掲載。</p> <p>○出雲圏域健康長寿しまね推進会議で実施していた「たばこの煙のない施設登録事業」を見直し、しまね☆まめなカンパニーへ移行により、しまね☆まめなカンパニー登録事業所を拡大。</p> <p>○重点目標に「胃がん・肺がんの発生リスクの低減と早期発見によるがん予防の推進」を計画に掲げ推進。</p> <p>○市と保健所で精度管理のためのがん検診チェックリストの確認、課題等の整理。（再掲）</p>

	<p>○商工会議所、JA しまねの広報誌に、性別・年齢階級別がん罹患率を掲示し受診を促す。</p>
大田	<p>○がんの一次予防について、しまね健康寿命延伸プロジェクト事業や健康長寿しまね推進事業等の取組と併せて啓発活動等を実施。</p> <p>○がん征圧月間(9月)、がん検診受診率50%キャンペーン(10月)に合わせた啓発の実施。</p> <p>○がん検診担当者会議の開催(3月予定)。</p> <p>○大田市の胃がん検診事業に関する検討会、各市町のがん検診に係る検討会への参加や、問い合わせへの対応。</p>
浜田	<p>○改正健康増進法を踏まえた受動喫煙防止対策の推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合庁職員および来館者に対してポスター掲示等による啓発。</li> <li>・健康寿命延伸プロジェクト事業と連動した取組として、モデル地区でのイベントでの啓発(5月29日みはしフェスタ)及び、地区内にある三階小学校でのチラシ配布、校内放送等を実施(5月31日)。</li> </ul> <p>○減塩、野菜摂取等健康的な食習慣に関する啓発、メタボリックシンドローム予防に関する啓発。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鍾馗めし」プロジェクト、「野菜たっぷり・塩ちょっぴり!!」の普及啓発。</li> </ul> <p>○働き盛り世代の受診率向上対策。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん征圧月間、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間(9~10月)に併せて、市役所にチラシの配布や、幟旗の貸し出しを実施。</li> <li>・「健康をとどけたい《プラス1》ファイル」(作成:浜田圏域健康長寿しまね推進会議)に、各種チラシ等を掲載。</li> <li>・「令和5年度健康づくりまめなカレンダー」(作成:浜田圏域健康長寿しまね推進会議)を作成し、事業所などに配布。</li> </ul> <p>○男性の肺がん、女性の乳がんにおける取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハガキの送付やコールリコールによる、乳がん検診の受診勧奨。(市役所)</li> <li>・セット検診の実施(乳がんと子宮頸がん、胃がんと肺がん)。(市役所)</li> </ul> <p>○がん検診の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年11月9日に、浜田圏域がん対策担当者会を開催し、各市の取り組み状況や、各市が抱えている問題点を改めて共有した。また、胃内視鏡検診の導入について、両市の思いや心配事を確認した。</li> </ul> <p>○がん検診受診率等のデータの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年11月9日に、浜田圏域がん対策担当者会を開催し、島根県がん登録室より「がん登録データ圏域別分析について」説明いただいた。</li> </ul>
益田	<p>○5月から7月には幼稚園・保育所の年長児の保護者、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間(10月)では食品衛生協会主催の講習会参加者にリーフレットや啓発グッズを配布。がん征圧月間(9月)には、益田保健所・益田合庁のエントランスにポスターや、リーフレット、啓発グッズを設置した。その他、益田圏域地域・職域連携推進連絡会構成団体や「しまね☆まめなカンパニー」へも啓発・情報提供を行った。</p>

	<p>○がん予防として重要なたばこ対策、栄養、運動等生活習慣の改善については、益田圏域健康長寿しまね推進事業や令和2年度からはしまね健康寿命延伸プロジェクト事業の中で啓発を行っている。</p> <p>○益田市をモデルとした子宮がん検診受診率向上事業の検討会へ参加し、最終報告を聞き、データの分析や情報提供を行い、今後の方向性について検討を行う予定である。</p> <p>○各市町の今年の計画や状況・課題をヒアリングし、意見交換を行った。</p> <p>○津和野共存病院の飯島副院長を講師にお招きし、町民に向けたがんの予防や闘病体験に関する研修会を開催する。【津和野町の医療を守り支援する会】</p> <p>○対策型5がん検診の実施及び、受診者に啓発グッズの配布。精密検査未受診者勸奨。広報等でがん対策に関する記事掲載（がん征圧月間/がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン/小児がん患者交通費助成事業等）。【津和野町】</p> <p>○がんミニドック日や休日に検診日を設け、受診しやすい体制を整えた。【益田市】</p> <p>○特定健康診査とセットでがん健診を実施した。【益田市】</p> <p>○地区健康づくりの会活動や公民館事業に併せて、チラシ配布等がん検診受診勸奨を行った。【益田市】</p> <p>○県の未受診者対策事業を活用し、国保加入者で40～60歳で過去4年不定期受診者及び未経験者へ大腸がん検診受診勸奨を行った。【益田市】</p> <p>○25～29歳前年度と当年度未受診者へ子宮頸がん検診受診勸奨を行った。【益田市】</p> <p>○大腸がん検診未受診者対策事業（検診料金無料化、受診勸奨通知事業）【吉賀町】</p> <p>○小中学校でのがん教育（6校で実施予定）。【吉賀町】</p> <p>○当事者会（ゆめサロン）月1回：コロナで休止中。【吉賀町】</p> <p>○がんに関するデータ分析の実施。【吉賀町】</p> <p>○生活習慣病予防、重症化予防のためのパンフレット作成・配布・展示をするなど普及啓発を行った。【食生活改善】</p> <p>○減塩チラシを作成、また既存の脳卒中等生活習慣病予防のチラシを地区の文化祭など催しの際に配布、塩分摂取量の展示。【食生活改善】</p> <p>○がん検診の会場で、壮年期の女性に減塩チラシ・缶詰・レシピを配布し、減塩の普及啓発に取り組んだ。【食生活改善】</p> <p>○近所へ訪問し、家庭の味噌汁の塩分測定を実施。【食生活改善】</p> <p>○働く人のための健康づくり応援事業を利用して小中学校に出向き、パンフレットの配布や展示、みそ玉づくりなどの体験を行った。【食生活改善】</p> <p>○高齢者に対して、吉賀町は高齢者の脳卒中発症が多いことから、減塩につながるみそ玉づくりをして、手軽にみそ汁をとれる方法を紹介した。【食生活改善】</p> <p>○事業所に出向き、健康管理の状況確認、健康についてのパンフレットを渡して説明。【食生活改善】</p>
<p>隠岐</p>	<p>○隠岐圏域では、5か所しまね☆まめなカンパニーの登録。</p> <p>○隠岐圏域は、「肺がん、大腸がん、乳がん」の3つのがんの発生リスク低減と早期発見の推進に取り組んでいる。各がん検診の受診率向上に向け、保健所・各町村で啓発に取り組んでいる。</p> <p>○がん検診チェックリストを用いて管内町村の検診実施状況の把握を行った。</p>

## 2. がん医療

松江	○令和4年8月9日乳がんクリティカルパス検討会を開催し、拠点病院の取り組みを共有。
雲南	○G-CSF 製剤の予防投与(悪性リンパ腫)。 <雲南市立病院> ○化学療法室の運用と体制強化。 <町立奥出雲病院> ○消化器専門医によるESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)等の実施。 <飯南町立飯南病院> ○がん地域連携クリティカルパスを活用したがん診療連携拠点病院との連携。 <雲南市立病院>
浜田	○地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担っている。(浜田医療センター) ○リニアック(放射線治療装置)の機器更新に伴い、新たな放射線治療対象患者にかかる紹介の受入れを一時休止となっている。(浜田医療センター)
益田	○MSWが「がん相談実務担当者会」に参画。【益田日赤】 ○がん診療連携推進病院、がん診療連携拠点病院に準じる病院として、手術、薬物療法を行う。【益田日赤】 ○がん治療の支持療法としての口腔機能管理の普及啓発。島根県がん教育外部講師養成研修事業への参加予定。【益鹿歯科医師会】

## 3. 緩和ケア

松江	○がん診療連携拠点病院において、緩和ケアやACPの研修会が実施されている。 ○松江市在宅医療・介護連携支援センターでは、終活支援ノート(市民向け啓発媒体)及び啓発動画の作成、又、ACP市民講座や出前講座を通して、住民に普及啓発実施している。 ○ACP協議会に合わせ、関係者向けの研修会を開催。
雲南	○地域ケア会議の場における医療介護関係機関の課題共有と連携強化。 <雲南市> ○がん薬物療法専門医、がん薬物療法認定薬剤師による治療実施。 <町立奥出雲病院> ○アドバンスケアプランニングに関する研修の開催。 <飯南町、飯南町立飯南病院> ○「看取りと訪問診療」に関する研修の開催。 <雲南地域介護支援専門員協会>
出雲	○慢性期病院における緩和ケアの取組が求められており、人材育成のための研修会を平成30年度及び令和元年度に引き続き開催(令和4年12月21日予定)することとしたが、コロナ感染症拡大のため3度延期することになった。 ○緩和ケア検討会を開催し、緩和ケアの進捗状況、課題について関係機関と検討する予定(令和5年2月13日予定)。

大田	○大田市立病院、緩和ケアネットワーク、保健所と共催で「多職種で連携し緩和ケアを行った症例」で研修会を開催予定。(2/8)
益田	○益田赤十字病院の緩和ケアアドバイザー連絡会に Web 会議で参加した。 ○緩和ケア事例検討会を令和5年2月6日に開催し、地域の取り組みに関し情報発信を行う予定。 ○患者・家族の意思決定支援の取組として、3市町の在宅医療・介護推進事業において、住民啓発の取り組みが進んでいる。
隠岐	○隠岐圏域地域連携ハンドブックの更新作業開始。各施設の医療的ケアをまとめ、関連会議で検討を重ねる。 ○隠岐の島町、隠岐病院、隠岐広域連合、保健所で啓発チラシ「隠岐で自分らしく生きる」を作成・配布。 ○隠岐の島町と保健所で連携し「高齢者の過ごし方講座」の共同開催。

#### 4. がん登録

松江	○松江市各種がん検診検討会議において、がん登録情報を提供し、がん検診受診率の向上等の検討をしている。
----	--

#### 5. 患者支援

雲南	○がんサロン「陽だまり」の活動支援。(雲南保健所)
浜田	○ほっとサロン便りのホームページへの掲載。(保健所)
益田	○「在宅医療・緩和ケア資源情報」を作成・随時更新し、情報提供を実施。 ○がんサロンの運営について、益田赤十字病院及び関係市町との連携・支援をしている。 ○益田市では新たに「がん患者のつどい 益田よつば会」が発足している。 ○がんサロン、がんピアサポーターの活動支援【益田日赤】
隠岐	○がんサロンに参加し、体験者の意見を実際に聞くことで各種事業などに反映。

#### 6. がん教育

大田	○高校の文化祭で、喫煙による健康被害の啓発を実施。 ○各種イベントや展示スペース等での啓発（プラス1活動、運動、野菜摂取、減塩等）。
浜田	○浜田水産高校へチラシやポケットティッシュなどの啓発物を配布。
益田	○がん予防として重要な受動喫煙対策については、児童・生徒向けパンフレットを管内養護部会にて紹介した。依頼のあった学校へ、がん・たばこに関する啓発物を配布した。

〈脳卒中〉

1. 脳卒中予防（発症予防、早期発見）の推進

<p>松江</p>	<p>○高血圧予防週間でブースを設置、また松江市・安来市と連携し、チラシを配布するなど、啓発を実施した。</p> <p>○脳卒中予防研修会を開催し、保健師、栄養士、食生活改善推進員等の資質向上を図った。</p> <p>○圏域内まめな☆カンパニーや松江圏域働き盛りの健康づくり推進連絡会で各事業所に発症予防のチラシを配布し、周知・啓発を行った。</p> <p>○しまね健康寿命延伸プロジェクトモデル地区で減塩・野菜摂取・運動促進の取組を実施。モデル地区以外の地区にも波及できるように、モデル地区以外の地区の状況把握をするため調査実施中。</p> <p>○高血圧予防週間でブースを設置、ポスター、チラシを掲示、また松江市・安来市と連携しチラシを配布するなど、啓発を実施した。</p> <p>○松江市・安来市及び歯科医師会や関係機関と協力し、かかりつけ歯科医の受診についてチラシで周知した。</p> <p>○圏域内指定医療機関と連携し「脳卒中発症状況調査（全数調査）」を実施、データ分析結果を松江市・安来市にフィードバックするとともに研修、会議、啓発資料等で活用している。</p>
<p>雲南</p>	<p>○各種普及啓発の取組み。          &lt;各市町、島根県薬剤師会雲南支部、雲南保健所&gt;</p> <p>○A I を活用した特定健康診査受診勧奨。          &lt;飯南町&gt;</p> <p>○健康寿命延伸プロジェクト(モデル地区活動)の取組み。          &lt;雲南保健所&gt;</p> <p>○雲南市、雲南医師会の連携による健診を入口とした生活習慣病予防の取組み。          &lt;雲南市、雲南医師会&gt;</p>
<p>出雲</p>	<p>○日本高血圧の日に併せて啓発パンフレット等掲示、血圧測定の呼びかけ、商工会議所、JA等の広報誌に啓発記事掲載。</p> <p>○出雲市において特定健診受診者で血圧が高めの人へ啓発パンフレットを送付。</p> <p>○出雲圏域健康長寿しまね推進会議構成団体や健康寿命延伸プロジェクト事業の対象地区と連携し啓発パンフレットの配布。</p> <p>○モデル地区活動の実施。</p> <p>○発症しやすい冬期に商工会議所、JA 広報誌等に啓発記事掲載。</p> <p>○健康寿命延伸プロジェクト事業の対象地区のイベントで希望者に歯周病唾液検査実施。</p> <p>○出雲市と連携して歯周病健診の状況を関係者と検討。</p> <p>○出雲市と連携してハイリスク者への対応や脳卒中発症者への再発防止の保健指導の実施。</p>
<p>大田</p>	<p>○日本高血圧週間にあわせた啓発の実施（各市町へ音声告知放送・データ放送を依頼）。</p> <p>○脳卒中の一次予防について、しまね健康寿命延伸プロジェクト事業や健康長寿しまね推進事業等の取組と併せて啓発活動等を実施。</p>

	<p>○各種イベントや展示スペース等での啓発（プラス1活動、運動、野菜摂取、減塩等）。</p> <p>○商工会や事業所等働き盛り世代へのチラシの配布。</p> <p>○脳卒中患者の再発防止支援の取組実施。</p> <p>圏域内病院からの発症連絡を受けて、要介護認定の申請をしない比較的軽度の脳卒中発症者に対し、市町保健師による訪問指導を実施。</p>
<p>浜田</p>	<p>○保健所内待合ロビーに血圧計を設置し、家庭血圧の測定および血圧の適正管理を推進。（保健所）</p> <p>○「健康をとどけたい《プラス1》ファイル」（作成：浜田圏域健康長寿しまね推進会議）に、各種チラシ等を掲載。（保健所）</p> <p>○圏域健康長寿しまね推進会議各部会において、減塩・野菜摂取に関する啓発を実施。（保健所）</p> <p>○飲食店において野菜がとれる減塩のメニューの提供；鍾馗めしプロジェクト（保健所）</p> <p>○「健康をとどけたい《プラス1》ファイル」（作成：浜田圏域健康長寿しまね推進会議）に、各種チラシ等を掲載。（保健所）</p> <p>○検診受診率並びに保健指導率の向上に向けた取り組み強化。（全国健康保険協会）</p> <p>○「健康をとどけたい《プラス1》ファイル」（作成：浜田圏域健康長寿しまね推進会議）に、各種チラシ等を掲載。（保健所）</p> <p>○脳卒中情報システム事業により、医療機関からの退院時情報について、各市へ情報提供を実施。（保健所）</p> <p>○浜田医療センター退院後、同意が得られた方に対して、家庭訪問をし、再発予防の指導を実施。（浜田市）</p>
<p>益田</p>	<p>○脳卒中発症予防のための生活習慣の改善について、益田圏域健康長寿しまね推進会議やしまね健康寿命延伸プロジェクト事業を中心に啓発している。</p> <p>○「脳卒中等情報システム事業」では同意の得られた方に対し市町から退院後の訪問面接、保健指導が行われている。また、訪問時の報告書から発症誘因等を明らかにし、関係機関へ還元することで効果的な発症及び再発予防対策に繋げている。</p> <p>○脳卒中对策担当者会議を開催し、島根県循環器病対策推進計画の共有や2年に1回の「脳卒中発症者状況調査」の協力依頼を実施するとともに、前回の全県の調査結果を情報提供する。</p> <p>○しまね高血圧キャンペーンに併せ、庁舎内での放送や啓発のぼり・血圧手帳等を配置したり、関係機関にリーフレットを配布する等家庭血圧の測定の周知を行った。</p> <p>○脳卒中発症状況調査に基づく訪問。地区健康を守る会等と連携し、地区健康教室の開催。【津和野町】</p> <p>○健診結果と脳ドック結果から脳卒中発症リスク保有者を対象として、脳卒中予防講座を開催した。【益田市】</p> <p>○益田市スマートヘルス推進事業（IoTを活用した血圧管理・家庭血圧測定の普及啓発）について事業内容を周知し、新規参加者・事業者の募集を行った。また、健康づくりファスティバルで講演会を開催した。【益田市】</p> <p>○脳卒中発症者への訪問指導または電話相談を実施した。【益田市】</p> <p>○脳卒中予防の共通教材を作成し、各地区で健康教室を実施した。【益田市】</p>

	<p>○食生活改善推進員と連携し、働く人のための健康づくり応援事業を実施。【吉賀町】</p> <p>○脳卒中既往者会の開催。【吉賀町】</p> <p>○食生活改善推進員によるみそ汁の塩分測定の実施。【吉賀町】</p> <p>○高齢者の集まりそうな場で、みそ玉づくりの実施。【吉賀町】</p> <p>○生活習慣病予防、重症化予防のためのパンフレット作成・配布・展示をするなど普及啓発を行った。【食生活改善】</p> <p>○減塩チラシを作成、また既存の脳卒中等生活習慣病予防のチラシを地区の文化祭など催しの際に配布、塩分摂取量の展示。【食生活改善】</p> <p>○がん検診の会場で、壮年期の女性に減塩チラシ・缶詰・レシピを配布し、減塩の普及啓発に取り組んだ。【食生活改善】</p> <p>○近所へ訪問し、家庭の味噌汁の塩分測定を実施。【食生活改善】</p> <p>○働く人のための健康づくり応援事業を利用して小中学校に出向き、パンフレットの配布や展示、みそ玉づくりなどの体験を行った。【食生活改善】</p> <p>○高齢者に対して、吉賀町は高齢者の脳卒中発症が多いことから、減塩につながるみそ玉づくりをして、手軽にみそ汁をとれる方法を紹介した。【食生活改善】</p> <p>○事業所に出向き、健康管理の状況確認、健康についてのパンフレットを渡して説明。【食生活改善】</p>
隠岐	<p>○圏域健康長寿しまね推進会議栄養・食生活・歯科保健（まめまめ）部会では「しっかり朝食・ちょびっと減塩」をテーマに各種啓発活動を実施。</p> <p>○「日本高血圧の日」に併せ、管内音声放送で日頃の血圧管理について啓発を実施</p> <p>○圏域の共通課題である「多量飲酒」を改善するため、アルコール対策を推進。圏域独自の AUDIT 啓発チラシの作成・配布。</p> <p>○事業主セミナーを開催。島根産業保健推進センター職員を講師に招き、アルコールに関する研修会を開催。</p> <p>○隠岐の島町五箇北方区をモデル地区に、住民や関係機関と協働した健康づくり活動を展開。</p> <p>○隠岐支庁内の安全衛生委員会と協働し、職員対象のからだにいいことチャレンジ週間を実施。</p>

## 2. 脳卒中の診断・治療

松江	○圏域歯科保健連絡調整会議等を活用し、誤嚥性肺炎の予防について協議するなど、各関係団体と連携している。
出雲	<p>○出雲市地域ケア会議、出雲市歯科医師会主催の地域包括口腔ケア会議に保健所も参加し、情報共有、連携を図る。</p> <p>○出雲市、出雲医師会と連携して啓発ポスターを医療機関に配布。</p>
浜田	○周術期等の口腔機能の管理。（浜田江津歯科医師会）
益田	<p>○消防本部における、益田地区救急業務連絡協議会（メディカルコントロール部会）において検討されている。</p> <p>○脳神経内科学会、1次脳卒中センター指定。【益田日赤】</p> <p>○脳卒中後の誤嚥性肺炎予防に向けた口腔管理の充実と多職種連携の普及啓発を図っている。【益鹿歯科医師会】</p>



### 3. 脳卒中医療連携体制

松江	○松江圏域脳卒中予防検討会を開催し、医療機関や医師会、訪問看護、松江市・安来市等との連携を進めている。
雲南	○地域ケア会議の場における医療介護関係機関の課題共有と連携強化。〈雲南市〉 ○3次医療機関での急性期治療が終了した患者の回復期リハビリ及び亜急性期での受け入れ。 〈雲南市立病院〉
浜田	○地域医療連携室を中心に地域の医師会や医療機関と連携して地域医療ネットワークを整備し、地域の患者様が安心して継続的医療を受けられるようサービスの向上を図っている。また、在宅や施設への退院、他の医療機関への転院など退院に伴う支援を行っている。(浜田医療センター) ○当院では脳卒中治療について、浜田医療センター（t-PAによる血栓溶解療法、脳出血の手術、脳動脈瘤クリッピング等を実施）と連携し、主に救急からの二次医療、並びに回復期のリハビリテーションを実施しています。(済生会江津総合病院)
益田	○益田赤十字病院・益田地域医療センター医師会病院・浜田医療センター・済生会合津総合病院と市町・保健所による「脳卒中地域連携クリティカルパス合同委員会」はコロナの感染拡大防止の観点からオンライン開催となった。 ○急性期から回復期、維持期と切れ目ないリハビリテーションの提供・医療介護サービスが相互に連携多支援を推進するため、「益田圏域生活療養ノート」を活用している。益田地域医療センター医師会病院のリハ科を中心に年間約200件程度発行されている。

### 4. 患者支援

松江	○松江圏域失語症友の会（だんだんトークの会）への支援。 ・毎月開催されるサロンへの参加。 ・松江市で養成された失語症者向け意思疎通支援者がだんだんトークの会のサロンに参加している。 ○松江市で令和4年12月失語症支援センターが開所、今後連携していく。
出雲	○言語聴覚士と連携して患者会の開催を支援しているが、コロナ禍のため令和3年度から未開催。

〈心筋梗塞等の心血管疾患〉

1. 心筋梗塞等の心血管疾患の予防（発症予防、早期発見）、重症化防止の推進

松江	<p>○圏域健康長寿しまね推進協議会の各団体や各分科会で生活習慣病予防、改善のため啓発活動を展開している。</p> <p>○島根県保険者協議会の医療費分析や特定健診や特定保健指導に係る各種研修により、健診受診率や特定保健指導の実施率の向上を目指し、両市と検討した。</p> <p>○松江市・安来市及び歯科医師会や関係機関と協力し、かかりつけ歯科医の受診を促した。</p>
雲南	<p>○雲南市、雲南医師会の連携による健診を入口とした生活習慣病予防の取り組み。          &lt;雲南市、雲南医師会&gt;</p> <p>○各種普及啓発の取組み。</p> <p>○健康寿命延伸プロジェクト(モデル地区活動)の取組み。          &lt;雲南保健所&gt;</p>
出雲	<p>○出雲地区心不全連携研究会等関係者との連携（研修会）。</p>
大田	<p>○日本高血圧週間にあわせた啓発の実施（各市町へ音声告知放送・データ放送を依頼）。</p> <p>○心疾患の一次予防について、しまね健康寿命延伸プロジェクト事業や健康長寿しまね推進事業等の取組と併せて啓発活動等を実施。</p> <p>○各種イベントや展示スペース等での啓発（プラス1活動、運動、野菜摂取、減塩等）。</p> <p>○商工会や事業所等働き盛り世代へのチラシの配布。</p>
浜田	<p>○圏域健康長寿しまね推進会議各部会において、減塩・野菜摂取に関する啓発を実施。（保健所）</p> <p>○飲食店において野菜がとれる減塩のメニューの提供：鍾馗めしプロジェクト（保健所）</p> <p>○保健所内待合ロビーに血圧計を設置し、家庭血圧の測定および血圧の適正管理を推進。（保健所）</p> <p>○周術期等の口腔機能の管理。（浜田江津歯科医師会）</p> <p>○特定健診からハイリスク者を抽出し、受診勧奨および重症化予防指導の実施。</p> <p>○特定健診重症化者及び定期受診中断者へのはがきでの受診勧奨。</p> <p>○循環器疾患発症予防及び重症化予防に向けた集団及び個別指導（高血圧、適塩に関する指導を中心に）。</p> <p>○広報活動</p> <p>○生活習慣病対策について医師会との意見交換会の実施。（江津市）</p> <p>○特定健診、特定保健指導の実施。特定健診受診者のうち、「高血圧」「糖尿病」「腎機能」ハイリスク者で、かつ未治療者に対し受診勧奨を実施した。（浜田市）</p> <p>○成人病リスクの高い方に対し、栄養指導を実施（予防対策）。（西部島根医療福祉センター）</p> <p>○人間ドックのオプションとして動脈硬化検診や頸動脈超音波検診を実施している。（浜田医療センター）</p>
益田	<p>○心疾患予防のための生活習慣の改善について、益田圏域健康長寿しまね推進会議を中心に啓発している。</p>

	<p>○しまね健康寿命延伸プロジェクト事業においても、生活習慣改善の取組を推進している。</p> <p>○歯周疾患検診を実施し、歯周病の早期発見、早期治療の推進、かかりつけ医を持つことの普及啓発を行っている。【各市町】</p> <p>○発症リスクである、メタボや高血圧予防についての健康教室を実施、特に冬場のヒートショック予防など啓発した。【益田市】</p> <p>○益田市スマートヘルス推進事業による血圧管理の普及啓発を行った。【益田市】</p> <p>○特定健康診査の受診率向上及び、特定保健指導の実施率向上に向けた取組（がん検診キャンペーン及び、ぼたんの会への委託）。「しまね健康長寿延伸プロジェクト事業」におけるモデル地区での事業展開。【津和野町】</p> <p>○食生活改善推進員と連携し、働く人のための健康づくり応援事業を実施。【吉賀町】</p> <p>○食生活改善推進員によるみそ汁の塩分測定の実施。【吉賀町】</p> <p>○心血管疾患のリスクを高めると言われている歯周病について、予防と重症化予防のための歯周疾患検診の受診率向上に向けてのチラシ作成。【益鹿歯科医師会】</p> <p>○生活習慣病予防、重症化予防のためのパンフレット作成・配布・展示をするなど普及啓発を行った。【食生活改善】</p> <p>○減塩チラシを作成、また既存の脳卒中等生活習慣病予防のチラシを地区の文化祭など催しの際に配布、塩分摂取量の展示。【食生活改善】</p> <p>○がん検診の会場で、壮年期の女性に減塩チラシ・缶詰・レシピを配布し、減塩の普及啓発に取り組んだ。【食生活改善】</p> <p>○近所へ訪問し、家庭の味噌汁の塩分測定を実施。【食生活改善】</p> <p>○働く人のための健康づくり応援事業を利用して小中学校に出向き、パンフレットの配布や展示、みそ玉づくりなどの体験を行った。【食生活改善】</p> <p>○高齢者に対して、吉賀町は高齢者の脳卒中発症が多いことから、減塩につながるみそ玉づくりをして、手軽にみそ汁をとれる方法を紹介した。【食生活改善】</p> <p>○事業所に出向き、健康管理の状況確認、健康についてのパンフレットを渡して説明。【食生活改善】</p>
隠岐	<p>○圏域健康長寿しまね推進会議栄養・食生活・歯科保健（まめまめ）部会では「しっかり朝食・ちょびっと減塩」をテーマに各種啓発活動を実施。</p> <p>○「日本高血圧の日」に併せ、管内音声放送で日頃の血圧管理について啓発を実施。</p>

## 2. 病院前救護体制の確立

松江	<p>○応急手当の普及啓発（心肺蘇生法の講習会）。</p> <p>＜雲南消防本部＞</p>
益田	<p>○消防本部における、益田地区救急業務連絡協議会（メディカルコントロール部会）において検討されている。</p>

### 3. 心筋梗塞等の心血管疾患の診断・治療

浜田	<p>○心筋梗塞治療として、血栓溶解療法や冠動脈造影検査に続く経皮的冠動脈インターベンション（PCI）を実施しており、心血管疾患に係る救急医療を担う医療機関としての役割を担っています。（済生会江津総合病院）</p> <p>○積極的にカテーテル治療や緊急の心臓カテーテル検査・治療を行っている。また、心臓リハビリテーション指導士を配置しており、島根県西部で心臓リハビリテーションが受けられる唯一の施設として治療を行っている。（浜田医療センター）</p> <p>○急性期から生活期まで一貫したリハビリテーションが提供出来るよう、令和4年8月心大血管リハビリテーションを導入。（済生会江津総合病院）</p> <p>○心不全看護外来、高血圧予防外来を実施し、慢性心不全や高血圧の予防、重症化予防に努めている。</p> <p>○心不全連携パスの活用、心不全多職種カンファレンスを行い、急性期から生活期まで一貫した入院中から退院後まで継続して行う体制を構築し患者支援をしている。（済生会江津総合病院）</p> <p>○「心不全ポイント」「生きいきポイント」の使い方のための研修会（医師、ケアマネ、訪問看護他）。（済生会江津総合病院）</p> <p>○心不全の重症化予防のための関係者教育。（済生会江津総合病院）</p>
益田	<p>○益田赤十字病院の循環器内科において令和元年度から心不全外来を開始。</p> <p>○カテーテル治療、検査大動脈バルーンパンピングを実施。【益田日赤】</p> <p>○心不全外来で心不全の予防、悪化の軽減に務める。【益田日赤】</p>

### 4. 患者支援

隠岐	<p>○事業主セミナーにおいて治療と仕事の両立支援についてガイドラインを用いながら説明を実施。</p>
----	---

〈糖尿病〉

1. 糖尿病予防（発症予防、早期発見）の推進

<p>松江</p>	<p>○圏域健康長寿しまねの構成団体と「減塩」「野菜摂取」「運動促進」の取組を推進。          ○両市や糖尿病対策会議と連携し、広く啓発を実施。松江保健所では糖尿病予防デーや糖尿病週間に併せてブースを設置しプラスワン活動を展開した。また、くにびき学園の生徒を対象に啓発を行った。          ○しまね健康寿命延伸プロジェクトモデル地区で減塩・野菜摂取・運動促進の取組を実施。モデル地区以外の地区にも波及できるように、モデル地区以外の地区の状況把握をするため調査実施中。          ○島根県保険者協議会の医療費分析や特定健診や特定保健指導に係る各種研修により、健診受診率や特定保健指導の実施率の向上を目指し、両市と検討した。          ○松江市・安来市で健康相談や個別栄養相談を実施し、希望者が保健指導を受けられる体制となっている。</p>
<p>雲南</p>	<p>○各種普及啓発の取組み。          &lt;雲南保健所&gt;          ○健康寿命延伸プロジェクト(モデル地区活動)の取組み。          &lt;雲南保健所&gt;          ○糖尿病予備群者等ハイリスク者への生活習慣改善指導の実施。          &lt;飯南町&gt;</p>
<p>出雲</p>	<p>○圏域健康長寿しまね推進会議構成団体と共に、「たばこ・アルコール」「食生活」「運動」「こころ」「歯科」の各分科会を中心に啓発を実施。          ○毎月発行される商工会やJAの広報紙に生活習慣改善に向けた啓発記事を掲載。          ○特定健診の分析結果を、会議等において関係機関と共有。          ○市において、特定健診・保健指導及び受診勧奨を実施。          ○市においてすこやかライフ健康相談を毎月実施し、食生活や運動についての個別相談に対応。</p>
<p>大田</p>	<p>○糖尿病の一次予防について、しまね健康寿命延伸プロジェクト事業や健康長寿しまね推進事業等の取組と併せて啓発活動等を実施。          ○各種イベントや展示スペース等での啓発（プラス1活動、運動、野菜摂取、減塩等）。          ○各市町では糖尿病対策フローを作成し、糖尿病連携手帳等を活用して、医療機関との連携を推進。</p>
<p>浜田</p>	<p>○浜田圏域健康長寿しまね推進会議活動として、健康な食及び運動の推進を実施した。（保健所）          ○各市においては、診療所からの紹介による個別栄養指導、保健指導を実施し、早い段階で生活習慣に応じた指導が受けられる体制を整えている。（保健所）          ○成人病リスクの高い方に対し、栄養指導を実施（予防対策）。（西部島根医療福祉センター）          ○人間ドックの検査内容の中で糖尿病検査も実施し、早期発見に努めている。（浜田医療センター）          ○特定健診重症化者及び定期受診中断者へのはがきでの受診勧奨。（江津市）</p>

益田	<p>○糖尿病予防ための生活習慣の改善については健康長寿しまね推進会議の活動を中心に取組を推進している</p> <p>○しまね健康寿命延伸プロジェクト事業においても、生活習慣改善の取組を推進している。</p> <p>○益田圏域の特定健診受診率（市町国保）は益田市が減少、津和野長、吉賀町は増加している（R3年度速報値 益田市:49.5% 津和野町:57.1%、吉賀町:56.0%）。</p> <p>○糖尿病対策担当者会議を開催し、圏域の糖尿病対策の現状、益田圏域糖尿病予防システムについて意見交換を行い、今後の糖尿病対策について検討する。</p> <p>○世界糖尿病デーイベント in 益田や益田地域糖尿病支援ネットワークは、コロナ禍の影響により開催されず。</p> <p>○R4.12.1に町と医療法人橘井堂の主催で、島根大学医学部内科学講座、内科学第1の金崎教授を講師に、糖尿病の予防や治療に関する講演会が開催されたので、役員も含め会員が参加した。【津和野町の医療を守り支援する会】</p> <p>○健診結果から糖尿病発症リスク保有者を対象として、糖尿病予防講座を開催した。 【益田市】</p> <p>○健診結果やレセプト情報から医療機関受診必要者へ電話相談や手紙による受診勧奨を行った。【益田市】</p> <p>○糖尿病予防の共通教材を作成し、各地区で健康教室を実施した。【益田市】</p> <p>○島根大学医学部教授を講師とした糖尿病に関する講演会の実施。</p> <p>糖尿病予防教室の開催。75g0GTT 検査の受診勧奨。糖尿病重症化予防プロジェクト実施（訪問/電話勧奨）。【津和野町】</p> <p>○糖尿病教室：5回実施【吉賀町】</p> <p>○特定健診で糖尿病精密検査になった方へ受診勧奨（通知、電話）。【吉賀町】</p> <p>○医療機関より紹介を受けた方の個別栄養指導（12人）。【吉賀町】</p> <p>○生活習慣病予防、重症化予防のためのパンフレット作成・配布・展示をするなど普及啓発を行った。【食生活改善】</p> <p>○減塩チラシを作成、また既存の脳卒中等生活習慣病予防のチラシを地区の文化祭など催しの際に配布、塩分摂取量の展示。【食生活改善】</p> <p>○がん検診の会場で、壮年期の女性に減塩チラシ・缶詰・レシピを配布し、減塩の普及啓発に取り組んだ。【食生活改善】</p> <p>○近所へ訪問し、家庭の味噌汁の塩分測定を実施。【食生活改善】</p> <p>○働く人のための健康づくり応援事業を利用して小中学校に出向き、パンフレットの配布や展示、みそ玉づくりなどの体験を行った。【食生活改善】</p> <p>○高齢者に対して、吉賀町は高齢者の脳卒中発症が多いことから、減塩につながるみそ玉づくりをして、手軽にみそ汁をとれる方法を紹介した。【食生活改善】</p> <p>○事業所に出向き、健康管理の状況確認、健康についてのパンフレットを渡して説明。【食生活改善】</p>
隠岐	<p>○圏域健康長寿しまね推進会議まめまめ部会において、朝食摂取、バランス食、運動習慣の確立等を啓発。</p> <p>○隠岐の島町五箇北方区をモデル地区に、住民や関係機関と協働した健康づくり活動を展開。</p>

	○隠岐支庁内の安全衛生委員会と協働し、職員対象のからだにいいことチャレンジ週間を実施。
--	---

## 2. 糖尿病の診断・治療水準の向上

松江	○松江地域糖尿病対策会議、安来市糖尿病管理協議会において、糖尿病の診断・治療・生活指導が実施できる体制整備を行っている。松江保健所は各会議に参画し支援した。 ○松江地域糖尿病対策会議、安来市糖尿病管理協議会を通じ、医師会や島根糖尿病療養支援機構、栄養士会等と連携し、かかりつけ医による糖尿病患者の療養指導を実施している。
雲南	○「雲南圏域糖尿病対策連絡会議」の開催 ＜雲南保健所＞ ○療養指導の充実 （糖尿病療養支援チームによる療養支援の検討、島根県糖尿病管理指導士の取得、院内研修会の実施、教育入院パスの作成） ＜飯南町立飯南病院＞
出雲	○「出雲圏域糖尿病療養支援における市との連絡及び診診・病診連携体制」に基づく病診連携の継続。
浜田	○令和3年度、不在となっていた糖尿病治療を専門とする内分泌代謝内科医を1名採用した。（浜田医療センター） ○専門の常勤医が不在の中、非常勤医師のみで現行の医療提供体制を維持してる。（済生会江津総合病院）
益田	○益田圏域版の糖尿病予防システム（空腹時血糖110以上125以下、HbA1c6.0以上6.4以下は、糖負荷試験の実施）をH21年度から実施している。 ○糖尿病の治療、透析、眼科等合併症の治療を実施。【益田日赤】

## 3. 糖尿病による合併症予防の推進

松江	○松江市糖尿病対策会議や安来市糖尿病管理協議会を通じ、合併症予防について啓発を実施している。 ○松江市糖尿病対策会議で「眼科受診勧奨しおり」を作成し、かかりつけ医と眼科医、薬局が連携し、治療や指導をする仕組みを作った。安来市では、糖尿病管理システムにより、病病・病診連携を図っている。 ○松江圏域歯科保健連絡調整会議を開催し、全身疾患予防としての歯周病対策について啓発に取り組むとともに、医科・歯科連携について継続して取り組むことを確認した。 ○糖尿病性腎症について松江市糖尿病対策会議（腎症重症化予防委員会）、安来市糖尿病管理協議会で状況確認、対策を検討し、継続して各関係機関で腎症の発症予防・重症化防止に向け、取り組んだ。 ○松江市・安来市ともに国保ヘルスアップ事業を活用し、腎症重症化予防のための分析、未受診者訪問等を実施している。保健所は随時連絡、相談を受け、支援している。
----	---

	<p>○松江市糖尿病対策会議、安来市糖尿病管理協議会、各市取組を通じ、関係機関により普及啓発を実施している。</p>
雲南	<p>○糖尿病の医科歯科連携体制強化事業。          &lt;雲南歯科医師会&gt;</p> <p>○糖尿病性腎症重症化予防の取組み。          (CKDフォロー対象者への支援 等)          &lt;各市町、雲南医師会&gt;</p> <p>○世界糖尿病デーに合わせたLINEでの啓発。          &lt;飯南町&gt;</p>
出雲	<p>○「出雲圏域糖尿病療養支援における市との連絡及び診診・病診連携体制」に基づく病診連携の継続。</p> <p>○出雲圏域糖尿病予防対策検討会を開催し、医科歯科薬科連携について情報共有・意見交換を実施。</p> <p>○出雲圏域糖尿病予防対策検討会を開催し、糖尿病性腎症発症防止の取組について検討。</p> <p>○市において、国保特定健康診査受診者を対象にかかりつけ医と腎臓専門医の連携強化と市における保健指導の実施。</p> <p>○市において糖尿病の治療中断の可能性がある人に対して医療機関へ受診勧奨を継続的に実施。また医療機関と連携し、血糖コントロールや合併症予防のための保健指導を実施。</p> <p>○市において、これまでの糖尿病等各予防教室を見直し、R4年度から生活習慣病重症化予防教室を実施。</p> <p>○市の糖尿病重症化予防教室(腎臓スクール)において、動画配信等を活用した指導、受診勧奨を実施。</p>
大田	<p>○各市町では糖尿病対策フローを作成、糖尿病連携手帳等の活用による病診連携、医科歯科薬科等の連携を推進。</p> <p>○各市町では、未受診者や治療中断者に対する受診勧奨、保健指導など重症化予防対策を実施。</p> <p>○歯科医師会では「糖尿病の医科歯科薬科連携体制強化事業」を実施。</p> <p>○世界腎臓デー(3月)に合わせ重症化予防の啓発を実施。</p>
浜田	<p>○他科の医師と連携して合併症予防に努めている。(浜田医療センター)</p> <p>○フットケア外来を開催し、足のトラブル予防に努めている。(済生会江津総合病院)</p> <p>○「浜田圏域糖尿病管理のしおり」により、適正管理のための連絡体制(医療機関間、医療機関から行政の栄養相談への紹介等)を共有したり、社会資源に関する情報提供を行い、各機関の連携を推進した。(保健所)</p> <p>○糖尿病の医科歯科薬科連携体制強化事業における事業説明及び勉強会。(浜田江津歯科医師会)</p> <p>○「浜田圏域糖尿病管理のしおり」により、適正管理のための連絡体制(医療機関間、医療機関から行政の栄養相談への紹介等)を共有したり、社会資源に関する情報提供を行い、各機関の連携を推進した。(保健所)</p> <p>○医療従事者のスキルアップのための研修会を開催。(浜田市医師会)</p>



	<p>○糖尿病性腎症重症化予防対策のため、かかりつけ医と連携した保健指導の実施。(全国健康保険協会)</p> <p>○糖尿病性腎症重症化予防事業の継続実施。糖尿病相談を実施。保健従事者のスキルアップのための研修会を開催。(浜田市)</p> <p>○糖尿病性腎症重症化予防の個別指導。【江津市】</p>
益田	<p>○世界糖尿病デーイベント in 益田は、コロナ禍の影響により開催されず。</p> <p>○一般診療所から糖尿病専門医(内科医・眼科医・歯科医)への紹介基準を、糖尿病連携ファイルを通じて周知し、情報を毎年更新している。</p> <p>○糖尿病の医科歯科薬科連携のチラシの印刷・配布。糖尿病予備軍への対応として、特定健診受診者へのチラシの印刷・配布を行っている。【益鹿歯科医師会】</p> <p>○益田圏域糖尿病対策担当者会にて、糖尿病性腎症重症化予防について情報・意見交換を行い、今後の対策について検討する。</p>
隠岐	<p>○「隠岐の島町糖尿病委員会」に事務局として参画。重症化防止の取組強化を図るとともに、予防に向けた住民啓発を行っている。</p>

#### 4. 患者支援

松江	<p>○地域の友の会については、松江市10団体、安来市2団体が活動している。安来市はくちょうの会は安来市糖尿病管理協議会が支援し、その他の団体は各所属医療機関が主で支援している。</p>
雲南	<p>○各種患者支援の取組み。 (簡易栄養相談、低カロリー・甘味料等の紹介、高カロリー・高糖質食品への注意、糖尿病教育入院) ＜島根県薬剤師会雲南支部＞</p>
出雲	<p>○出雲圏域糖尿病予防対策検討会において活動状況を共有。</p>
大田	<p>○圏域の「糖尿病友の会」は6か所(病院・開業医3か所、地域3か所)。</p>
浜田	<p>○糖尿病友の会(なでしこの会)を年数回開催し、糖尿病患者の療養指導の充実や合併症予防・重症化予防に取り組んでいる。(済生会江津総合病院)</p> <p>○糖尿病患者会の活動支援。(江津市)</p>
隠岐	<p>○「隠岐の島町糖尿病委員会」に事務局として参画。重症化防止の取組強化を図るとともに、予防に向けた住民啓発を行っている。</p>

〈精神疾患〉

1. 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

<p>松江</p>	<p>○健康長寿しまね推進会議心の分科会、精神保健ボランティア、家族会等を通じ、精神疾患に対する正しい知識の普及や相談先の周知に努めている。</p> <p>○精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議、研修会を開催し、長期入院者の退院支援事例、地域移行実施加算、地域移行機能強化病棟での退院促進の取り組みについて情報共有の機会を持った。</p> <p>○各市総合支援協議会等への参加。</p> <p>○安来市における協議の場設置に向けた準備が必要。</p> <p>○ピアサポーター養成講座を開催し4名の養成をした。養成講座開催にあたっては、病院、相談支援事業所にも受講者募集をし、ピアサポーターの活動についても周知した。</p> <p>○ピアサポーターフォローアップ研修を開催した。</p> <p>○ピアサポーターの活用体制について、受託機関と協議した。</p>
<p>出雲</p>	<p>○保健・医療・福祉関係職種に呼びかけ「心の健康づくり取り組み隊」へ登録いただいた講師及び保健所職員による、心の健康出前講座を実施し、精神疾患に対する正しい地域の普及を実施。(思春期1回120名、地域2回40名 R5年1月末時点)</p> <p>○健康寿命延伸プロジェクトのモデル地区の文化祭等でストレスチェックの実施やチラシの配布等の啓発活動を実施。</p> <p>○出雲市の各行政センター(6カ所)及び保健所で心の健康相談を実施し、身近な場所で相談が実施体制を確保し、医療が必要な人への早期支援を実施。</p> <p>○心の健康相談(お酒の困りごと相談を含む)チラシ及びポスター作成し、相談日及び圏域内の精神科医療機関及び相談機関を関係機関へ周知。</p> <p>○出雲地域精神保健福祉協議会に「医療の連携と在宅支援に関する部会(出雲地域精神障がい者地域移行・地域定着圏域会議を兼ねる)を位置づけ、圏域の課題を共有(R5.3.9)。</p> <p>○R3年度より、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業を実施(モデル地区)。重層的な連携体制構築を目的とし、アドバイザー連絡会等を開催した。</p> <p>○出雲市では協議の場を出雲市施策推進協議会のじりつ専門部会で精神障がい者の地域生活移行・定着について協議しており、「医療の連携と在宅支援に関する部会」が連携し協議できるよう検討。</p> <p>○国のガイドラインに基づき、措置入院患者の退院支援を実施。</p> <p>○医療と地域との連携を目的とし、出雲圏域の医療機関(県立こころの医療センター・県立中央病院)において精神障がい者地域移行・地域定着支援事業研修会を2月に実施予定。医療と地域職員の交流実習については、中止。</p> <p>○ピアサポーター活動について関係者から意見聴取し、活動内容を検討。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実働はなし。</p> <p>○精神保健所包括支援会議を開催(3回)し、多機関・多職種による処遇困難事例のカンファレンスを行い、個別支援のバックアップ及び支援体制に関わる検討を実施。</p>
<p>大田</p>	<p>○雲南保健所と合同でピアサポーターフォローアップ研修を開催、圏域間での交流を実施(11/18)。</p>

	<p>○ピアサポーターだよりを発行し、ピアサポーターの地域での様子やフォローアップ研修の状況について、医療機関や関係機関へ情報発信（たよりを通じた入院患者とピアサポーターの交流）。</p> <p>○市町の自立支援協議会への参画。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 邑南町における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた支援。</li> </ul> <p>○邑南町の当事者会立ち上げに向けたサポート。</p>
浜田	<p>○自死予防週間等に相談窓口の周知を行った。（保健所）</p> <p>○ピアサポーター連絡会を開催し、来年度の取り組みについて検討を行った。（保健所）</p> <p>○精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築ワーキングに参加した。</p> <p>○心に不調を抱える方からの電話相談や、来所相談に対応した。（平日日中）</p> <p>○浜田圏域自立支援協議会に出席し、支援体制について協議した。</p>
益田	<p>○精神疾患の正しい知識の普及について、H30年度より「心の輪を広げ隊（普及啓発を行う当事者組織）」を保健所で立ち上げ、より身近なところで精神障がい者からの体験発表と保健師による専門知識の講演を行っているが、コロナ禍の影響により実施しておらず。</p> <p>啓発月間やキャンペーンに併せて、益田合庁玄関口にグッズやチラシを配架。</p> <p>○地域移行支援・地域定着支援事業圏域会議を開催。会議の内容を考慮し、今年度より児童民生委員協議会と家族会が新たに参加。益田圏域の精神医療の状況及び各市町の精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム構築の協議の場の設置状況や取組状況について共有。包括ケアシステム構築にむけた意見交換を行った。</p> <p>○定期ケース検討会を松ヶ丘病院の院内カンファレスに位置づけて、長期入院者のケース年4回実施（うち1回はコロナで中止）。</p> <p>○地域移行に関する事業の関係機関の連携として、松ヶ丘病院とピア委託先の相談支援事業所を訪問し、聞き取りを行った。</p> <p>○益田市においては、平成30年度から県のモデル事業として「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組」を開始し、令和元年度精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの協議の場を設置。益田市とニーズ把握の為に、頻回入院者へ聞き取りアンケートを実施。</p> <p>○津和野町は令和元年に協議の場を設置。グループホームやショートステイに関するアンケートの実施や町や相談支援事業所と共に長期入院者の聞き取りを行っている。</p> <p>○吉賀町に令和3年に協議の場を設置。</p> <p>○精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築においては、頻回入退院者の地域定着に向けての聞き取り調査を実施し、課題分析を行った。また、継続的な取り組みである強度行動障害についての検討会にも参加し、関係機関と連携を図ることができた。【益田市】</p> <p>○就業・生活支援センターエスポアと連携した障がい者就労相談「ワーク WORK 相談」を実施。精神保健福祉支援者研修会・精神保健福祉ボランティアの養成及びスキルアップ講座の開催。精神障がい者当事者会「紅くじゃくの会」の開催。ゲートキーパー研修の開催。自死防止ネットワーク会議の開催。心の健康相談の実施。認知症講演会の開催。【津和野町】</p>

	<p>○精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築。【吉賀町】</p> <p>○ひきこもり支援として SST 講座（月 1 回）の継続。【吉賀町】</p> <p>○相談事業やネットワーク事業の活用や関係機関と連携して、在宅及び入院の個別ケースの検討、支援。【吉賀町】</p> <p>○松ヶ丘病院通院バス「ひかり号」運行。【吉賀町】</p> <p>○ひきこもり事例検討会の開催（1 回/2 ヶ月）。【吉賀町】</p> <p>○家族会の支援、講座の開催【吉賀町】</p> <p>○長期入院の退院促進を積極的に行い、退院後の訪問診療、訪問看護、就労支援を充実させた。また、入院中から退院に向け、各機関と連携した支援を行った。【松ヶ丘病院】</p> <p>○精神科訪問看護室を開設し、訪問看護を拡充させた。【松ヶ丘病院】</p>
隠岐	<p>○隠岐圏域精神障がい者地域生活移行・地域定着支援会議を開催し、包括的な支援体制について検討（予定）。</p> <p>○町村の自立支援協議会・地域ケア会議等に参加し、町村の具体的な取り組みに向けた支援を継続。</p> <p>○自立支援ボランティアへの意向調査、ピアサポーター養成に関する関係機関ヒアリングを実施し、活用場面等を検討。</p> <p>○各町村自立支援協議会にて検討。</p>

## 2. 多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築

### (1) 各世代に対応した心の健康づくり

松江	<p>○健康長寿しまね推進会議心の分科会、精神保健ボランティアとの協働による心の健康づくりの普及啓発（対象：分科会構成員所属団体、イベント参加者、専修学校等）。</p> <p>○職域から申し込みのあったメンタルヘルズ講座の開催。</p> <p>○チラシやホームページによる相談窓口の周知。</p> <p>○心の健康相談、アルコール相談の実施。</p> <p>○治療中断の相談に対しては受診勧奨のための訪問を実施。</p> <p>○訪問型の相談実施体制について検討したい。</p>
雲南	<p>○臨床心理士による健康相談の開催。</p> <p>○奥出雲町精神障がい者家族会と当事者への支援。        &lt;奥出雲町&gt;</p> <p>○雲南保健所の定期専門相談・巡回相談、その他関係機関の外部カウンセリング支援の取組み等への協力（医師の派遣など）。        &lt;奥出雲コスモ病院&gt;</p> <p>○各種相談事業、普及啓発の取組み。        &lt;保険者協議会、雲南保健所&gt;</p>
出雲	<p>○保健・医療・福祉関係職種に呼びかけ「心の健康づくり取り組み隊」へ登録いただいた講師及び保健所職員による心の健康出前講座を実施し、精神疾患に対する正しい地域の普及を実施。（思春期 1 回 120 名、地域 2 回 40 名 R5 年 1 月末時点）</p> <p>○出雲圏域健康長寿しまね推進会議こころの分科会活動では、12 月に“適正飲酒”をテーマに JA しまねや出雲商工会議所の広報誌を通じた啓発を実施（3 月は自死対策強</p>

	<p>化月間について啓発予定)。健康寿命延伸プロジェクトのモデル地区の文化祭等でストレスチェックの実施やチラシの配布等の啓発活動を実施。</p> <p>○心の健康相談（お酒の困りごと相談を含む）チラシ及びポスター作成し、相談日及び圏域内の精神科医療機関及び相談機関を関係機関へ周知。</p> <p>○圏域健康長寿しまね推進会議心の分科会と自死総合対策に関する部会（出雲圏域自死総合対策連絡会を兼）が連携し、自死予防週間及び自死予防対策強化月間におけるチラシ等の配布を実施。</p> <p>○心の不調への気づきを促すリーフレットを作成し、関係機関を通じて配布。</p> <p>○出雲市の各行政センター（6カ所）及び保健所で心の健康相談を実施し、身近な場所で相談が実施体制を確保し、医療が必要な人への早期支援を実施。</p>
大田	<p>○しまね健康寿命延伸プロジェクト事業や健康長寿しまね推進事業等の取組と合わせて普及啓発を実施。</p> <p>○こころの健康相談（所内・巡回相談）や思春期のこころの健康相談、訪問や電話等による相談（随時）の実施。</p>
浜田	<p>○相談窓口の周知を実施した。</p> <p>○心の健康相談やケース対応等により、関係機関と連携し、精神疾患等の早期発見・早期対応につながるよう対応を行っている。</p>
益田	<p>○関係機関の窓口、各種会議・研修会でストレスチェック表・相談機関一覧表を配布し周知を行っている。</p> <p>○自死予防週間や自死対策強化月間において、市町にケーブルテレビ放送を依頼したり、広報等やスーパーへの啓発を行っている。</p> <p>○保健所相談チラシの配架場所をスーパーなどに増やし、相談窓口の周知に努めた。</p> <p>○保健所の定期相談を身近に利用してもらえるように、健康長寿しまね推進会議運動とこころの部会で意見交換を実施。</p> <p>○地域住民対象の「出前講座」を多数開催し、病気への理解を促すとともに、差別や偏見をなくす取り組みを進め、早期支援の必要性も伝えた。【松ヶ丘病院】</p>
隠岐	<p>○住民向けに各種相談窓口の周知を図る目的で「隠岐圏域こころの健康ホットライン」を作成し配布。</p> <p>○町村と協働し「ゲートキーパー養成研修」を実施</p> <p>○R3年度よりオンラインによるこころの健康相談を行い、相談機会の拡充を図った。</p>

## (2) 各疾患に対応した医療提供体制の構築

### ア. 統合失調症

松江	<p>○630 データ等を活用し、圏域内の入院状況等を医療機関と共有。</p> <p>○院内多職種のアセスメントをふまえた退院後支援の実施。</p> <p>○地域での生活が円滑に行くように家族会とも連携を図っている。</p>
出雲	<p>○出雲地域精神保健福祉協議会に「医療の連携と在宅支援に関する部会（出雲地域精神障がい者地域移行・地域定着圏域会議を兼ねる）を位置づけ、圏域の課題を共有（R5.3.9）。</p> <p>○医療と地域との連携を目的とし、出雲圏域の医療機関（県立こころの医療センター・県立中央病院）において精神障がい者地域移行・地域定着支援事業研修会を2月に実施予定。医療と地域職員の交流実習については、中止。</p>

	<p>○出雲圏域精神保健包括支援会議を開催（3回）し、多機関・多職種による処遇困難事例のカンファレンスを行い、個別支援のバックアップ及び支援体制に関わる検討を実施。個別支援を通じて見えた地域課題を「医療の連携と在宅支援に関する部会」においても共有・検討。</p> <p>○入院中に開催される支援会議に、相談支援事業所、行政保健師、訪問看護師などが参加し、地域生活への円滑な移行を支援。</p>
大田	<p>○雲南保健所と合同でピアサポーターフォローアップ研修を開催、圏域間での交流を実施（11/18）。</p> <p>○ピアサポーターだよりを発行し、ピアサポーターの地域での様子やフォローアップ研修の状況について、医療機関や関係機関へ情報発信（たよりを通じた入院患者とピアサポーターの交流）。</p> <p>○市町の自立支援協議会への参画。 ・ 邑南町における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた支援。</p>
浜田	<p>○浜田圏域自立支援協議会に精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築ワーキングを設置し、関係者で地域包括ケアシステム構築に向けて検討を行い、圏域の課題について整理を行った。（保健所）</p>
益田	<p>○例年、地域移行支援・地域定着支援事業 圏域会議の中で検討している。</p>
隠岐	<p>○隠岐圏域精神障がい者地域生活移行・地域定着支援会議を開催し、長期入院患者の退院支援について検討（予定）。</p>

#### イ. うつ病・躁うつ病

松江	<p>○健康長寿しまね推進会議心の分科会、精神保健ボランティアとの協働による心の健康づくりの普及啓発。</p> <p>○職域から申し込みのあったメンタルヘルス講座の開催。</p> <p>○チラシ・市報・ホームページによる相談窓口の周知。</p> <p>○健康長寿しまね推進会議心の分科会、精神保健ボランティアとの協働による心の健康づくりの普及啓発。</p> <p>○職域から申し込みのあったメンタルヘルス講座の開催。</p> <p>○チラシ・市報・ホームページによる相談窓口の周知。（再掲）</p> <p>○松江圏域働きざかりの健康づくり推進連絡会において、松江圏域職場の健康づくりのためのアクションプランの取組として、メンタルヘルス対策を1つの柱に掲げ、関係機関との連携を図り、取組をすすめている。</p> <p>○健康づくりファイルに相談先パンフレットを追加。</p> <p>○松江圏域働きざかりの健康づくり推進連絡会のホームページで心の健康に関する情報発信。</p> <p>○松江圏域働きざかりの健康づくり推進連絡会において、松江圏域職場の健康づくりのためのアクションプランの取組として、メンタルヘルス対策を1つの柱に掲げ、関係機関との連携を図り、取組をすすめている。</p> <p>○自殺未遂者ケア研修「かかりつけ医版」への参加を医師会を通じて周知。</p> <p>松江圏域周産期医療連絡協議会全体会等で、妊産婦のメンタルヘルスについても検討している。</p>
----	--

	産科医療機関及び行政の訪問時等に3つの質問票を使い、ハイリスク妊産婦の把握に努め、必要な支援を行っている。
雲南	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲートキーパー研修等の開催。</li> <li>○相談窓口等に関する啓発（学校、成人式）。</li> <li>○自死関連の計画の推進、自死対策連絡協議会。 ＜各市町＞</li> <li>○メンタルヘルスをテーマとした研修の開催。</li> <li>○ストレスチェックの実施。 ＜雲南市社会福祉協議会、雲南地域介護支援専門員協会＞</li> <li>○産後のメンタルヘルスに関する普及啓発。</li> <li>○子育て世代包括支援センターとの連携による支援。 ＜各市町＞</li> </ul>
出雲	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健・医療・福祉関係職種に呼びかけ「心の健康づくり取り組み隊」へ登録いただいた講師及び保健所職員による心の健康出前講座を実施し、精神疾患に対する正しい地域の普及を実施。（思春期1回120名、地域2回40名 R5年1月末時点）</li> <li>○出前講座時にうつ病に関する○×クイズ・アンケート、ストレスチェックを実施し、ストレスチェックの結果返信時にセルフケア情報を提供。</li> <li>○若年者への啓発を強化することとし、島根大学看護学科（1年生60名 R4.6.13）、トリニティカレッジ（1年生、103名 R5.1.6）を対象にゲートキーパー養成研修を実施。</li> <li>○出雲圏域健康長寿しまね推進会議こころの分科会活動では、12月に“適正飲酒”をテーマにJAしまねや出雲商工会議所の広報誌を通じた啓発を実施（3月は自死対策強化月間について啓発予定）。健康寿命延伸プロジェクトのモデル地区の文化祭等でストレスチェックの実施やチラシの配布等の啓発活動を実施。</li> <li>○出雲市の各行政センター（6カ所）及び保健所で心の健康相談を実施し、身近な場所で相談が実施体制を確保し、医療が必要な人への早期支援を実施。</li> <li>○心の健康相談（お酒の困りごと相談を含む）チラシ及びポスター作成し、相談日及び圏域内の精神科医療機関及び相談機関を関係機関へ周知。</li> <li>○一般診療科医の精神疾患対応力向上を図るととも精神科医療機関との連携強化を目的に、年1回かかりつけ医のための精神疾患研修会を医師会と連携して開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響でR4年度は中止とした。</li> </ul>
大田	<ul style="list-style-type: none"> <li>○啓発週間・各種イベントや展示スペース等での啓発。</li> <li>○相談機関の周知、希望団体へのストレスチェック表の配布と活用促進。</li> <li>○妊産婦期における産後うつ等のメンタルヘルスの不調を早期発見・対応するため質問票を産婦人科医療機関や市町で活用し、より早期から関係機関が連携した対応を実施。</li> </ul>
浜田	○9月の自死予防週間を中心に、うつ病、自死予防、相談連絡先などを記載したパンフレットを関係機関に配布した。（保健所）
益田	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自死予防週間において市町及び関係機関にストレスチェック表・相談機関一覧表を配布したり、各市町の広報でも啓発を行っている。</li> <li>○うつ病啓発用パンフレットを研修会等で配布し啓発を行っている。</li> </ul>

	○益田日赤と松ヶ丘病院が連携し、精神科受診中の妊婦の産前、産後のフォローを行うことにより、対象妊婦の支援だけでなく、産婦人科と精神科の連携が強化されている。
隠岐	○町村と協働し「ゲートキーパー養成研修」を実施。 ○「隠岐圏域こころの健康ホットライン」の配布・周知。

#### ウ. 認知症

松江	○個別相談への対応。 ○市や、認知症疾患医療センターが開催する研修会等への参加呼びかけや参加を通じ連携を図っている。
雲南	○認知症疾患医療センターの取組み（研修、会議）。 ＜奥出雲コスモ病院＞ ○認知症対応力向上研修会 ○認知症患者ＱＯＬ維持・向上推進研修会 ○高齢者の低栄養予防対策研修会 ＜雲南歯科医師会＞
出雲	○出雲市認知症高齢者支援強化検討会に参画し、現状と課題等を共有し、情報提供など必要な支援を行った。 ○出雲認知症サポート医連絡会に参画し、情報共有及び今後の取り組みを検討した。 ○認知症サポート医と連携し、薬剤師会出雲支部と認知症対応力向上研修を開催予定（3月）。
大田	○連携型認知症疾患医療センター（令和5年4月から石東病院に変更）の運営を支援、今後の体制について検討。 ○こころの健康相談や保健師による相談（随時）の実施。
浜田	○認知症初期集中支援チーム・施策検討会の開催。（江津市・浜田市） ○江津市・浜田市認知症初期集中支援チーム、施策検討会議への参加。（保健所） ○認知症介護従事者向け研修会において、島根県や圏域の状況等について説明を実施。（保健所） ○県作成の啓発媒体を関係機関・関係者に配布。（江津市・浜田市・保健所） ○チームオレンジ（浜田市2チーム）の実態把握。（浜田市医療対策課へ聞きとり） ○9月1日認知症サポート医研修会・連絡会（主催：認知症疾患医療センター 西川病院、保健所）の共催。（浜田市・江津市と両市の医師会） ○認知症疾患医療センター連絡会の参加。（西川病院、保健所） ○9月1日浜田圏域サポート医研修会・連絡会の開催支援、参加。（主催：認知症疾患医療センター 西川病院）（保健所） ○12月15日医療従事者向け認知症対応力向上研修会（主催：認知症疾患医療センター 西川病院）への参加。（保健所） ○初期集中支援チーム会議の開催。（江津市・浜田市） ○江津市・浜田市認知症初期集中支援チーム会議への参加。（保健所）
益田	○H27.10月に松ヶ丘病院が地域型認知症疾患医療センターに指定され、連絡調整をしながら事業の円滑な推進を図っている。



	<p>○圏域の認知症ネットワーク会議を年1回開催し、関係機関と認知症対策の取組状況、方向性を検討する場としている。コロナ禍で中止や書面開催が続いていたが、今年度はハイブリット形式で認知症対策事業の改善や各機関の取組についての情報提供、関係機関との意見交換を実施予定。</p> <p>○認知症サポート医の活動状況や今後の取組を把握し、地域とのネットワーク構築のため、新規サポート医に対しオンラインによる訪問を行っている。圏域内養成のサポート医は13名。</p> <p>○認知症サポート医連絡会、認知症支援懇話会（研修会）をコロナ禍の影響を鑑みオンラインで開催している</p> <p>○早期発見・早期相談につながるため、ネットワーク会議で作成した認知症チェックリストチラシの更新を行っている。</p> <p>○認知症初期集中支援チームや若年性認知症の相談窓口も含め普及している。</p> <p>○認知症疾患医療センターを中心に、各医療機関との連携を図り、早期治療に取り組んだ。【松ヶ丘病院】</p> <p>○認知症の様々なイベント（アルツハイマーデー、ラン友等）を通じて、啓発活動に取り組んだ。【松ヶ丘病院】</p> <p>○認知症になる前からの定期歯科受診を勧奨するためのチラシの印刷・配布。【益鹿歯科医師会】</p>
隠岐	<p>○隠岐認知症疾患医療センターと共催で、隠岐圏域認知症疾患医療連携協議会を実施し、地域における連携体制について検討。</p> <p>○隠岐認知症疾患医療センターと共催で隠岐圏域認知症対応力向上研修（認知症予防、若年性認知症の対応）を開催。</p>

## エ. 児童・思春期精神疾患、発達障がい

松江	<p>○松江圏域での子どもの診療ネットワークの稼働状況について課題把握した。次年度以降、ネットワークが円滑になるための相談のあり方について要検討。</p> <p>○子どもの心の健康相談の周知先を拡大し、高校へも周知を行った。</p> <p>○近年会議は未開催であるが、医療がひっ迫しないための他機関での適切なアセスメント体制について、5年度には会議開催予定。</p> <p>○近年会議は未開催であるが、医療がひっ迫しないための他機関での適切なアセスメント体制について、5年度には会議開催予定。（再掲）</p>
出雲	<p>○出雲市子ども・若者支援センター、出雲市教育委員会と連携し、子どもの心の健康相談を年4回実施。</p> <p>○出雲地域精神保健福祉協議会の部会に「出雲圏域子どもの心の診療ネットワーク会議」を位置づけている。圏域の特性に応じた体制整備を図るため、各関係機関の取組の現状及び課題について調査を実施。</p> <p>○思春期のこころや性に関する相談窓口及び医療機関の情報を掲載した「出雲地域思春期のこころとからだの相談先」を作成し、関係機関に配布し情報共有。</p> <p>○関係者向けの研修会として、関係者事例研修会（R4.11.11）を開催。</p>
大田	<p>○思春期こころの健康相談の実施（年6回）。</p> <p>○圏域内の中学1年保護者に思春期のこころとからだに関するリーフレットを配布。</p> <p>○高校文化祭参加者に思春期チラシ、こころの健康相談チラシを配布。</p>

	<p>○関係者のスキルアップを目的とした思春期事例検討会を開催(10/21)。</p>
浜田	<p>○悩みを抱える子どもや家族、関係者を対象にした身近な相談窓口として、思春期相談日を設置した。(年4回)(保健所)</p> <p>○悩みを抱える子どもの関係者の対応能力の向上を目的に、子どもの心の健康相談(年4回)、事例検討会(年1回)を開催。(保健所)</p> <p>○支援機関等が各機関の取組を相互理解し情報の共有化を図ることを目的に作成した「浜田圏域子どもの心の支援機関情報一覧」の改訂にむけ調整を行っている。(保健所)</p> <p>○関係機関の連携を図るため、会議開催の調整を行っている。(保健所)</p> <p>○医療と教育の連携を図るため、会議開催を調整中。(保健所)</p> <p>○島根県西部の保健、医療、福祉、教育、就労等の関係機関を対象に令和4年度ウィンドブロック会議を実施し、発達障害者支援センターの役割報告、情報交換を実施。(島根県西部発達障害者支援センター ウィンド)</p> <p>○浜田圏域の保健、医療、福祉、教育、就労等の関係機関を対象に事業連絡会を開催。(障害者就業・生活支援センターレント)</p> <p>○令和3年度からインクルーシング教育システム推進センター校を設置。(島根県立浜田高等学校)</p> <p>○地域の医療機関の医師に子どもの心の診療にかかる中央派遣研修を受講してもらった。(保健所)</p> <p>○令和3年度中央派遣研修の内容を伝達できるよう調整中。(保健所)</p> <p>○関係機関の連携を図るため、会議開催を調整中。(保健所)</p>
益田	<p>○県立こころの医療センターの協力を得て、子どもの心の相談を実施している。(今年度1回実施、今後1回実施)</p> <p>○松ヶ丘病院と県立こころの医療センターの協力を得て、子どもの心の事例検討会を実施している。(今年度3回実施)</p> <p>○益田圏域子どもの心の相談窓口一覧を更新し、構成団体に変更時配布。</p> <p>○子どもの心の診療ネットワーク会議や従事者研修会を開催し、情報共有や資質の向上による連携体制づくりを検討している。今年度はコロナ禍の影響を考慮し、研修会はオンライン開催とした。</p> <p>○就労支援を強化し、就労継続支援A型、就労継続支援B型との連携を促進させた。 【松ヶ丘病院】</p> <p>○圏域医師等を中央研修に派遣し、子どもの診療体制の充実に努めている。コロナ禍であるが、中央研修へ派遣することができ、管内の関係者へ復命研修を行うことができた。</p> <p>○小児精神の専門常勤医を招聘し、小児発達外来を拡充した。【松ヶ丘病院】</p>
隠岐	<p>○子どもの心の診療ネットワーク事業において、「思春期こころの健康相談」「事例検討会」を実施。</p> <p>○R3年度相談窓口を整理し連携強化を図るため隠岐教育事務所と共に「子どもの心の相談窓口」を作成。R4年度、圏域内の医療・保健・福祉・教育機関へ配布。</p> <p>○令和4年度東部圏域ブロック会議に出席。</p>

オ. 依存症

松江	<p>○アルコール専門医療機関、断酒新生会の協力によるアルコール相談の実施。</p> <p>○断酒新生会主催の「SBIRTS 普及促進セミナー」に参加。</p> <p>○セミナー後、アルコール相談関係者会議を開催し、自助グループへのつながりを意識した今後の取り組みについて協議。合わせて相談先の周知、一般医療機関での早期発見・対応について、医療機関への協力依頼を行う。(予定)</p>
出雲	<p>○島根県断酒新生会出雲支部の酒害相談員の協力により、お酒の困りごと相談を月1回開催。また、随時、相談希望者と酒害相談による相談を実施。</p> <p>○断酒会例会の会場を提供し(月1回)、活動を支援。</p> <p>○出雲地域精神保健福祉協議会の委員として島根県断酒新生会出雲支部に加わってもらい、圏域内の課題として協議出来る体制としている。</p> <p>○保健所で受けたギャンブル依存症に関する相談は、心と体の相談センターを紹介し、支援につなげている。</p>
大田	<p>○こころの健康相談や保健師による相談(随時)の実施(アルコール依存症等を含む相談に対応)。</p> <p>○啓発週間・各種イベントや展示スペース等での相談窓口の周知や普及啓発を実施。</p>
浜田	<p>○断酒会への職員の参加及び会場貸出の実施(月1回程度)。(保健所)</p> <p>○心の健康相談において、アルコール相談日を設けている(年度内3回程度)。(保健所)</p> <p>○関係機関からの連絡を受け、アルコール依存症の方を医療機関につないだ。(保健所)</p> <p>○ギャンブル障害依存研修(主催:松ヶ丘病院)に参加。(浜田保健所)</p>
益田	<p>○お酒の困りごと相談を告知放送やケーブルテレビ、チラシで周知し、相談対応を行っている。</p> <p>○断酒会やAA(アルコールリスク・アノニマス)への支援を行っています。</p> <p>○平成30年度松ヶ丘病院がギャンブル依存症等拠点医療機関に選定され、今年元年度は山陰初のGA益田グループが発足された。松ヶ丘病院におけるギャンブル依存症の取組やGA益田グループの周知、顔の見える関係づくりと対応力向上のため、益田圏域ギャンブル依存症研修会を開催。今年度は松ヶ丘病院が研修会を開催し、参画。</p> <p>○ギャンブル依存症外来を週2回開設し、圏域外からの受診も受け入れ、体制を強化した。【松ヶ丘病院】</p>
隠岐	<p>○個別ケースについて、支援会議への参加、病院・役場と同伴で家庭訪問を実施。</p> <p>○健康長寿しまね推進事業や事業所訪問等の取組で、適正飲酒等アルコール問題の予防について啓発を実施。</p> <p>○未成年者飲酒防止の観点で、学校での出張講座を実施。</p> <p>○「お酒の困りごと相談」について、広報等で周知。</p> <p>○島後地区では、医療・保健・福祉機関で連携してアルコール健康障がいに対する取組を進めていくため、「アルコール健康障がい対策連絡会」を開催。</p>

カ. 高次脳機能障がい

松江	・ネットワーク会議に参加し情報共有。
----	--------------------

出雲	○拠点病院（エスポアール出雲クリニック）で開催される、ネットワーク会議へ参加。
浜田	○島根県高次脳機能障がい者支援事業の圏域の相談支援を実施。年2回のネットワーク会議の開催や当事者と家族のための「家族の集い」を年4回開催。また、研修会や一般の方対象への周知啓発のための研修会を実施。（西部島根医療福祉センター） ○高次脳機能障がい者支援研修会（主催：西部島根医療福祉センター）に参加。
益田	○圏域会議や研修会が開催され、地域生活支援や普及啓発等の取組が推進されており、参画している。 ○圏域支援拠点「相談支援事業所ほっと」と精神科デイケアを有する松ヶ丘病院を中心として、医療から福祉までの連続したケアが受けられる体制づくりが推進されている。
隠岐	○隠岐圏域高次脳機能障がいネットワーク会議に参加。

#### キ. てんかん

益田	・てんかんに対する正しい知識の普及啓発については、てんかん協会島根県支部と連携して取り組んでいる。
----	---

#### ク. その他の疾患（不安障がい・PTSD・摂食障がい）

浜田	○悩みを抱える子どもや家族、関係者を対象にした身近な相談窓口として、思春期相談日を設置した。（年4回）（保健所） ○悩みを抱える子どもの関係者の対応能力の向上を目的に、子どもの心の健康相談を開催。（年4回）（保健所）
益田	○子どもの心の診療ネットワーク事業等を活用し、早期に適切な支援につながるよう努めています。

### 3. 精神科医療体制等の整備

#### (1)精神科救急医療体制

松江	○診療を希望しても数か月待ちであり、より早期に受診できる場所を求めての相談あり。相談内容に応じて、受診調整することで、数か月待たず受診できることもある。 ○個別に対応を行っている。
出雲	○精神科救急医療体制整備出雲圏域連絡調整会議を開催（R4. 11. 24）し、精神科病院、消防、警察等と協議。緊急受診の際の各機関の対応について、個別事例やガイドラインを通して確認。 ○精神科救急空床確保業務当番病院に基づき、各月の当番病院において空床確保を確認。 ○夜間、休日にかかりつけ医療機関で対応出来ない場合、島根県精神科医救急情報センターが対応することを周知。
大田	○精神科救急情報センターとして相談対応を実施。
浜田	○精神科救急情報センター（平日日中）業務を引き続き実施した。（保健所） ○一般人通報を受けて、精神科医療機関へつなぎ、退院後の支援をした。

益田	<p>○精神科救急医療体制益田圏域連絡調整会議を開催し、迅速かつ適切な医療の確保、コロナ禍における精神科救急医療体制、自死対策等について関係機関と協議を行った。</p> <p>○H29年度の救急告示病院等を対象とした自死未遂者対応の調査結果を受け、圏域版心の相談先一覧表を令和元年度作成し、来年度の改定に向けて活用状況の把握と意見交換を実施。</p> <p>○市町の自死ネットワーク会議や未遂者支援対策の会議へ参加し、自死や未遂者に対する支援の協議や情報交換を行っている。</p> <p>○コロナ禍における精神科救急医療体制について検討を行った。</p> <p>○総合病院と精神科救急指定医療機関が連携し、精神科受診中の妊婦の産前、産後のフォローを行うことにより、対象妊婦の支援だけでなく、産婦人科と精神科の連携を強化している。</p> <p>○鹿足郡のあぼろ心療所の閉院後、津和野共存病院内に精神科・心療内科が開設され、圏域内の精神科医療提供体制の充実につながっている。</p> <p>○松ヶ丘病院との医療機能連携協定を締結。【益田日赤】</p> <p>○関係医療機関との連携を図り、各病院への往診等を進めた。【松ヶ丘病院】</p> <p>○令和元年度島根 PEEC コース（精神的問題を有する身体救急患者に標準的な初期評価・初期診察を行うために必要なスキルを身につけるための教育コース）が開催され、参加及び開催支援・協力を行った。</p> <p>○益田圏域自死総合対策連絡会を中心に、関係機関と連携して総合的な自死対策を推進している。</p> <p>○市町担当者会の開催、市町の会議への参画、自死遺族との交流会への参加、関係機関の訪問等により自死対策推進のための連携を深めた。</p>
隠岐	<p>○隠岐圏域精神科救急医療体制整備連絡調整会議を開催し、精神科救急医療体制について検討（予定）。</p>

(2) 一般診療科との連携体制

松江	<p>○両市で行う自死対策の会議に参加し、取り組み状況の確認、効果的な取り組みについて検討している。</p>
雲南	<p>○他の病院・医院と連携による身体的治療の必要な精神疾患患者への適切な医療の提供。</p> <p>＜奥出雲コスモ病院＞</p>
出雲	<p>○一般診療科医の精神疾患対応力向上を図るとも精神科医療機関との連携強化を目的に、かかりつけ医のための精神疾患研修会を医師会と連携して年1回開催しているが、R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。</p> <p>○出雲地域精神保健福祉協議会の部会に「自死総合対策に関する部会（出雲圏域自死総合対策連絡会兼ねる）、出雲市では出雲市自死対策検討委員会として位置づけ、共同で自死に関する地域の実情について総合的に協議しているが、R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。</p> <p>○出雲圏域自死総合対策連絡会では、出雲圏域総合対策行動指針（H30～R4）、出雲市自死対策検討委員会では、出雲市自死対策総合計画（H31～R5）に基づき、取組を推進。</p>

大田	○市町自死会議への参画。
益田	○隠岐圏域自死予防対策連絡会を開催し、管内の自死予防対策の推進について検討（予定）。

### (3) 災害派遣精神医療チーム(DPAT) の整備

益田	○DPAT の先遣隊として、各講習会や実地訓練に参加した。【松ヶ丘病院】
----	--------------------------------------

### (4) 医療観察制度

出雲	○支援対象者の社会復帰に向け、入院中から保護観察所等の関係機関と連携し支援。
大田	○保護観察所と連携し、情報共有や保健師による訪問を実施。
浜田	○心身喪失者医療観察法の通院処遇中の対象者の支援を多機関・多職種で連携して実施した。
益田	○医療観察法対象者については個別ケース支援として、松江保護観察所と連携し、現状の確認と今後の支援について関係機関と検討を行っている。

### (5) ひきこもり支援

松江	○ひきこもり支援における保健所の役割について市と現状を確認しながら早期相談につながる相談体制の在り方を検討している。
雲南	○若者の就労支援事業（ひきこもり支援） フリースペースの開催。 ＜雲南市社会福祉協議会＞
出雲	○島根県ひきこもり地域支援センターのサテライトとして、「ひきこもり家族教室」への開催協力をしていたが、令和4年度は中止。
大田	○「島根県ひきこもり支援センター」のサテライトとして相談対応を実施。 ○こころの健康相談や保健師による相談（随時）の実施（ひきこもり相談等を含む相談に対応）。
浜田	○令和4年から浜田市中高年ひきこもり支援事業開始（浜田市、NPO 法人ワーカーズプロ） ○ひきこもりの家族に対し家族教室を周知。（保健所） ○個別相談対応し、関係機関につなげた。（保健所）
益田	○令和4年1月に、島根県ひきこもり支援センター地域拠点「いっぽ」がサポートセンターF0H内に開設され、支援体制が整備された。 ○いっぽと連携しながらケース支援を実施。いっぽのケース会議である「はんぽ」にも参画。 ○ひきこもり支援センター「いっぽ」を中心に、本人、家族からの相談を受け、関係機関との連携を強化した。【松ヶ丘病院】
隠岐	○個別支援を通じ、継続した支援を実施。 ○学童の不登校支援についても、子どもの心の診療ネットワーク相談事業で対応。

〈救急医療〉

1. 救急医療体制

松江	<p>○救急病院の認定期間満了に伴い、圏域内6病院から申出を受け、期間の更新を行った。</p> <p>【新たな認定期間】令和5年2月1日～令和8年1月31日</p> <p>【救急病院】松江市立病院、松江赤十字病院、松江生協病院、松江記念病院、玉造病院、安来市立病院</p>
雲南	<p>○在宅当番医の取組み          &lt;奥出雲町、雲南医師会&gt;</p> <p>○救急告示病院の取組み          &lt;各救急告示病院&gt;</p> <p>○救急業務連絡会          &lt;各救急告示病院、雲南消防本部&gt;</p> <p>○啓発用パンフレット・広報誌の発行          &lt;各市町、がんばれ雲南病院市民の会、奥出雲町地域医療確保推進協議会&gt;</p>
出雲	<p>○出雲地区救急業務連絡協議会に保健所長が委員として参画している。今年度は3月17日に開催予定。</p>
大田	<p>○新型コロナウイルス感染症への対応等連絡会等において、関係機関との情報交換を実施。</p>
浜田	<p>○浜田市直営の休日診療所を管理運営。(浜田市)</p> <p>○休日診療所への協力。(浜田市医師会)</p> <p>○常勤の救命救急医(救急専門医)を中心に第三次救急医療機関として、救急車やドクターヘリの受け入れを積極的におこなっている。(浜田医療センター)</p> <p>○地理的要因や周辺圏域の救急対応能力等を踏まえた上で当院で救急機能を維持することが必要であり、救急告示病院として圏域の救急医療体制の確保に努めています。(済生会江津総合病院)</p> <p>○救急活動時に必要な個人情報をおらかじめ自宅の冷蔵庫に貼り付けておく「安全・安心カード」の推進。(浜田消防)</p> <p>○江津地域の傷病者の搬送及び受入に関する連絡会議を開催。(保健所)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に関する救急の受入等について、随時の連絡及び必要時は連絡会を実施した。(保健所)</p>
益田	<p>○休日救急の体制は、益田市では、H21年3月に整備された益田市休日応急診療事業において対応している。鹿足郡では、開業医の閉院、医師の高齢化、病院医師不足等により在宅当番医制をH31.3月に廃止。六日市病院と津和野共存病院が初期救急を担っている。</p> <p>○令和2年度、益田赤十字病院では、救急車対応は24時間、ウォークインによる救急外来受診を21時までとした。</p> <p>○医療のかかり方の啓発活動をしている医療を守る会への支援を継続している。</p> <p>○休日応急診療事業、無料電話相談により救急外来の負担軽減を図った。【益田市】</p> <p>○「知って安心・受診の心得」を配布し、上手な医療機関のかかり方の周知啓発を行った。【益田市】</p>

	<p>○「救急の日」に合わせリーフレットを配布し、救急車の適正利用などを呼びかけた。【益田市】</p> <p>○つわの健康ダイヤル 24 事業のことをパンフレットに掲載する。【津和野町の医療を守り支援する会】</p> <p>○津和野共存病院は救急告示病院ではないため、益田赤十字病院等への搬送が基本となるが、患者の状態によっては診療を実施。つわの健康ダイヤル 24 事業による電話相談の実施。【津和野町】</p> <p>○六日市病院の 2 次救急への支援（特別交付税を利用した第 5 次六日市病院支援）【吉賀町】</p>
--	--

## 2. 搬送体制

松江	<p>○救急救命士の育成、再教育          &lt;雲南消防本部&gt;</p> <p>○「救急医療週間」における普及啓発の取組み          &lt;雲南消防本部、雲南保健所&gt;</p>
益田	<p>○益田広域消防本部救急救命士資格取得状況（R4. 4. 26 現在）          気管挿管認定救急救命士：11 名          ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管認定救急救命士：10 名          救急救命士処置拡大 2 行為認定救急救命士：24 名          薬剤投与登録（認定）救急救命士：27 名</p> <p>○救急救命九州研究所の新規救急救命士養成研修、指導救命士養成研修及び感染対策強化研修にそれぞれ 1 名を派遣した。【益田広域消防本部】</p> <p>○ドクヘリ症例検討会に参加し、隊員のスキルアップ及び連携強化に努めた。【益田広域消防本部】</p> <p>○救急医療週間に併せ、救急車の適正利用について広報を実施した。【益田広域消防本部】</p> <p>○防災ヘリとの合同訓練を実施し、連携強化を図った。【益田広域消防本部】</p>

## 3. 病院前救護体制

雲南	<p>○応急手当の普及啓発活動          （心肺蘇生法の講習会、救急救命講習、救急法）          &lt;雲南消防本部&gt;</p> <p>○救急救命士の育成（気管挿管実習）          &lt;雲南消防本部&gt;</p>
浜田	<p>○浜田市とメディカルコントロール業務委託を締結し、救急救命士に対し救急救命処置に関する具体的な指示や育成のための研修実施。（浜田医療センター）</p>



〈災害医療〉

1. 地震、風水害等の災害時の医療救護(災害時公衆衛生活動を含む)

<p>松江</p>	<p>○松江・安来地域災害保健医療対策会議の委員名簿及び緊急時連絡先一覧を更新し、関係機関間で情報を共有した。</p> <p>○R4.6.3 EMIS 入力・衛星電話通信訓練に参加し、衛星電話を利用した連絡体制の確認を行うとともに、システム及び衛星電話利用方法の習熟に努めた。</p>
<p>雲南</p>	<p>○災害時要配慮者への支援の充実の取組み（地域ケア会議等の活用、介護事業所・地域包括支援センター等の介護分野との課題共有・連携強化）</p> <p>　　＜各市町＞</p> <p>○防災担当課との連携による災害保健活動マニュアル準備物品等の整備。</p> <p>○地域の防災研修会への参加 （新型コロナ感染予防に配慮した避難所運営の啓発）</p> <p>　　＜飯南町＞</p> <p>○緊急連絡網の点検、整備 　　＜奥出雲コスモ病院＞</p> <p>○災害対策チームによるマニュアル作成・訓練の実施 　　＜飯南町立飯南病院＞</p> <p>○事業継続計画（BCP）策定の取組み 　　＜平成記念病院＞</p> <p>○多数傷病者対応訓練（多数傷病者事案発生時のトリアージ方法、他機関との連携等について机上訓練） 　　＜雲南消防本部＞</p> <p>○各種研修等への参加（島根県警察・歯科医師会研修災害歯科保健研修）</p> <p>○大規模災害時の島根県歯科医師会との連携の取組み 　　（避難所における口腔ケアや用品の備蓄について） 　　＜雲南歯科医師会＞</p> <p>○災害派遣要請時への体制整備の取組み 　　（島根県薬剤師会災害対策マニュアル）</p> <p>○DMAT 研修 　　＜島根県薬剤師会雲南支部＞</p> <p>○災害支援ナースの登録、人材確保の取組み（啓発等） 　　＜看護協会雲南支部＞</p> <p>○「雲南地域災害保健医療対策会議」の各関係機関の取組み状況の照会と情報共有＜雲南保健所＞</p>
<p>出雲</p>	<p>○出雲地域災害保健医療対策会議を実施した（令和4年11月30日）。同会議では、福祉分野との情報共有が重要である点を確認し、今後福祉分野からの参画を進めることとなった。</p> <p>○広域災害救急医療情報システム（EMIS）入力訓練を実施した（令和4年6月3日）。今年度より出雲市も訓練に参加。</p> <p>○コロナ禍における豪雨災害等に備え、出雲市と対応を協議した。</p>
<p>大田</p>	<p>○大田地域災害保健医療対策会議開催（7/6）。</p> <p>○コロナ対応所内会議、関係者連絡会の開催。</p>

	<p>○非常用電源確保事業の説明会を開催。市町担当者と災害時の体制、機器の使用方法等を確認（11/10）。</p>
浜田	<p>○国保診療所において災害初動時のアクションカードをR元に作成。（浜田市）</p> <p>○浜田医療センターは地域災害拠点病院であり、DMATを2チーム有している。（浜田医療センター）</p> <p>○済生会江津総合病院は地域災害拠点病院であり、災害派遣医療チーム（DMAT）を2チーム配置し、災害時には病院を支援するとともに、災害現場における緊急処置等に従事することとしています。（済生会江津総合病院）</p> <p>○令和3年度、4年度と浜田地域災害医療対策会議を開催できていない。令和2年度、災害時における医療救護班設置までのフローチャートを作成しの承認された。（保健所）</p> <p>○令和4年6月3日に、所内でEMIS訓練と衛星電話訓練を実施。担当課以外の職員も訓練参加を呼びかけ、各医療機関と連絡をした。（保健所）</p>
益田	<p>○益田地域災害医療対策会議を平成24年度からを毎年度開催し、災害時の連携や連絡体制整備の取り組み状況について確認している。令和4年度は7月8日に開催。</p> <p>○災害時の関係機関の災害医療担当者名簿を更新。</p> <p>○大規模災害を想定した各機関の初動についての意見交換を実施。</p> <p>○災害医療拠点病院である益田赤十字病院に、災害医療コーディネーター2名、災害時小児周産期リエゾン1名の登録がある。</p> <p>○難病患者の支援体制整備の一環として、災害時の備えおよび支援体制整備を目的に、非常用電源についての講習、医療的ケアを必要とする患者の災害時の個別支援体制の確認等を行った。</p> <p>○圏域のDMATは、益田赤十字病院に1チーム設置がある。</p> <p>○災害時における歯科支援チームJDAT（Japan Dental Alliance Team）の編成について、日本歯科医師会から島根県歯科医師会を通じて、地区歯科医師会に依頼があり、1チームを編成している。【益鹿歯科医師会】</p> <p>○医療機器を使用している利用者には、必要時、訪問する。BCPの作成。【吉賀町訪問看護】</p> <p>○災害対策本部の設置時に、益田日赤に対し、リエゾンの要請依頼を確認した。【益田市】</p> <p>○「吉賀町地域防災計画」に基づいた活動の推進。【吉賀町】</p> <p>○BCPの策定。【益田市医師会】</p> <p>○石見空港航空機事故消化救難総合訓練などを通じた外部訓練への参加（令和4年度は卓上訓練）。【益田市医師会】</p> <p>○益田市医師会会員を4班に編制し、災害時の体制を整えている。【益田市医師会】</p>

## 2. 災害拠点病院等の整備

雲南	<p>○災害協力病院  &lt;該当医療機関&gt;</p> <p>○大規模地震が発生した際の多数傷病者の来院を想定した訓練を実施&lt;雲南市立病院&gt;</p>
----	---

出雲	○広域災害救急医療情報システム（EMIS）入力・衛星電話通信訓練を実施し、保健所と各災害医療関係機関との間で、災害時の情報通信方法について確認した。（令和4年6月3日）
浜田	○地域災害拠点病院として、浜田医療センター、済生会江津総合病院が指定されている。
益田	○益田圏域地域災害拠点病院：益田赤十字病院 災害協力病院：益田地域医療センター医師会病院 六日市病院 ○R4.6月に実施された県内EMIS入力・衛星電話通信訓練に管内病院、保健所が参加。 ○島根県防災訓練に参加。院内の災害対応訓練を実施。【益田日赤】

### 3. 広域連携の確立

雲南	○中国地区DMAT連絡協議会実動訓練への参加 ＜雲南市立病院、雲南保健所＞
----	--

〈地域医療（医師確保等によるへき地医療の体制確保）〉

1. 地域医療支援体制の構築

(1) 地域医療を支える関係機関の連携

松江	○外来医療計画に基づき、新規開業者に対し、圏域に不足する医療機能を担うことの同意（R3.12～R4.12新規開設者5件中すべて同意）及び医療機器共同利用計画提出状況（R3.12～R4.12新規設置機器CT台、マンモグラフィー2台）について松江地域保健医療対策会議医療・介護部会で報告をした。
雲南	○地域医療連携推進法人の取組み 〈雲南市、奥出雲町、雲南市立病院、町立奥出雲病院〉
浜田	○研修医の受入数を増やし、研修後の医師確保について取り組んでいる。（浜田医療センター） ○済生会横浜市東部病院総合診療研修プログラムの連携施設として研修医の受入をしている。（済生会江津総合病院） ○江津市内の国民健康保険診療所が医師の高齢化に伴い診察が困難となったため、当院から週に1度医師を派遣し、地域医療の確保に努めている。（済生会江津総合病院） ○地域医療連携推進法人の設立により、法人内で定期的に意見交換を行う等さらに開業医との連携が進んでいます。（済生会江津総合病院） ○済生会合津総合病院と江津市内の診療所の双方に籍を置き、両施設で診療にあたる医師の相互交流を推進（江津市医師会）
益田	○医療機関、訪問看護ステーション等でまめネット活用が進められている。 ○益田日赤の広後方支援病院として機能分担している。【津和野町】 ○津和野町日原に開設していた「かのあしあぽろ心療所」を3月末で廃院し、令和4年4月より、津和野共存病院 精神科・心療内科に、医師と精神保健福祉士を派遣した。【松ヶ丘病院】
隠岐	○島前地域の持続的な医療体制を構築することを目的として令和5年1月19日に「今後の島前医療を考える会」を開催。島前3町村長をはじめ、行政、医療機関等関係者間で議論した。今後も継続的に会議を実施し、関係機関が連携しながら隠岐圏域の持続的な医療体制の構築を目指した取り組みを推進していく。

(2) 一次医療の維持・確保

雲南	○奥出雲町地域医療確保推進協議会 〈奥出雲町〉 ○地域医療拠点病院の取組み ・巡回診療（田井地区、角井地区） ・診療所医師派遣（来島診療所 ほか） ・診療支援 ・教育機関、高齢者施設等における医師勤務 〈各地域医療拠点病院〉 ○地域医療交流会、新任医師等歓迎会 〈各市町、雲南市立病院、町立奥出雲病院、がんばれ雲南病院市民の会〉
大田	○大田市担当課との情報交換会実施。

	<p>○地域における安定的な医療提供体制の構築・確保に向けて、隣接する3市町及び中核となる2病院の連携・協力のための意見交換を実施。</p> <p>○大田市立病院と大田市医師会において、定期的に意見交換会を実施。</p>
益田	<p>○地域医療を守るという観点から、六日市病院の経営改善にむけたアクションプランの担当者会議、進捗管理の経営会議への出席。また、例年同様に特別交付税を利用した第5次六日市病院支援計画を実施し、主として財政支援を行った。また、町の医療計画に公設民営化への取り組みを追加する計画変更を行った。【吉賀町】</p> <p>○益田圏域内の地域医療拠点病院は、益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、津和野共存病院、六日市病院の4医療機関である。</p> <p>○赴任医師歓迎事業を実施した。【益田市】</p> <p>○医師の安定確保及び、定着に向け、島根県、島根大学、しまね地域医療支援センターと定期的に意見交換等実施。医療従事者の確保に向け、看護学校や医療技術者及び介護職員等養成施設へ出向きPR活動を実施。【津和野町】</p>

### (3) 地域医療拠点病院

雲南	<p>○地域医療拠点病院の取組み（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回診療（田井地区、角井地区）</li> <li>・診療所医師派遣（来島診療所 ほか）</li> <li>・診療支援</li> <li>・教育機関、高齢者施設等における医師勤務</li> </ul> <p>&lt;各地域医療拠点病院&gt;</p>
浜田	<p>○地域医療拠点病院である済生会江津総合病院及び西部島根医療福祉エンターの経営安定化と医師・看護師等の医療従事者の確保に対する取組みを財政支援し、地域医療の維持・確保を行った。（江津市）</p> <p>○圏域における地域医療拠点病院として、地域の医療提供体制を支えるとともに、開業医との連携を強化している。</p> <p>○地域医療連携推進法人の設立により、法人内で定期的に意見交換を行う等さらに開業医との連携が進んでいる。（済生会江津総合病院）</p>

### (5) 巡回診療の確保

雲南	<p>○地域医療拠点病院の取組み（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回診療（田井地区、角井地区）</li> <li>・診療所医師派遣（来島診療所 ほか）</li> <li>・診療支援</li> <li>・教育機関、高齢者施設等における医師勤務</li> </ul> <p>&lt;各地域医療拠点病院&gt;</p>
益田	<p>○益田地域医療センター医師会病院では、R3.9月から益田市内の無医地区等6か所の巡回診療の取組を実施。</p> <p>○津和野共存病院では、R4年7月から、須川地区にて月2回巡回診療の取組を実施。</p> <p>○津和野町内の2無医地区のうち1地区に対する巡回診療を開始した。日原診療所の移転による日原地域への医療提供体制を強化。【津和野町】</p>

## (6) へき地診療所の充実

雲南	○雲南市立病院附属掛合診療所の運営 ＜雲南市立病院＞
浜田	○江津市内の国民健康保険診療所に週に1回医師を派遣し地域医療の確保に努めている。(済生会江津総合病院)

## (8) 在宅医療の推進

益田	○条件不利地域における訪問診療・訪問看護を行う医療機関や訪問看護ステーションに対し、市町村を通じて支援を行っている。
隠岐	○在宅医療の現状と課題を把握するため、島前島後の医療機関・訪問看護ステーションへ聞き取り調査を実施。在宅医療部会で報告、意見交換を行う。

## (9) 電話相談システムの活用

雲南	○小児の急病時の対応等に関するパンフレット配布 ＜各市町＞
----	----------------------------------

## (10) 広域的な支援体制

出雲	○コロナ患者の自宅療養支援にあたり、医療機関、訪問看護ステーションとの情報共有にまめネットを活用し、スムーズな支援につながった。また、普及にもつながった。
益田	○まめネットの活用促進。【鹿足郡医師会】

## 2. 地域医療に従事する医師の確保・養成・支援を行うための施策の推進

### (1) 医師の確保・養成・支援に向けた関係機関の連携

雲南	○地域医療交流会、新任医師等歓迎会（再掲） ＜各市町、雲南市立病院、町立奥出雲病院、がんばれ雲南病院市民の会＞ ○医学生、研修医等の各種実習、研修の受入れ。 ＜各病院、雲南保健所＞
----	---

### (2) 医師を確保する施策（即戦力となる医師の確保）

雲南	○益田市医師会では、「親父の背中プログラム」として、県外の地域医療に関心の高い医師を受け入れ、医師会病院・会員（診療所）にて研修を実施。 H30年度：医師2名受入れ。 R1年度：医師1名受入れ。 R2年度：医師1名受入れ。 R4年度：医師1名受け入れ。
----	--

### (3) 地域医療を担う医師の養成

松江	○R4. 8. 22～24 令和4年度夏季地域医療実習 ○R5. 3. 13, 14, 16 令和4年度春季地域医療実習（予定）
雲南	○地域医療交流会、新任医師等歓迎会（再掲） ＜各市町、雲南市立病院、町立奥出雲病院、がんばれ雲南病院市民の会＞

	<p>○医学生、研修医等の各種実習、研修の受入れ。(再掲)        &lt;各病院、雲南保健所&gt;</p> <p>○総合診療専門研修プログラムの実施。        &lt;雲南市立病院&gt;</p> <p>○将来の医療従事者の確保を目的とした小中学校への補助金の交付(地域医療教育推進事業補助金)。        &lt;奥出雲町&gt;</p> <p>○小中高校生の職場体験、見学の実施。        &lt;町立奥出雲病院&gt;</p>
大田	<p>○圏域の地域医療を支える中核病院の特性を学びながら様々な実習(外来・病棟・夜間救急外来・訪問診療等)を盛り込み、圏域特性を活かした実習プログラムを3月と8月に行っている。夏季については、管内の新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ研修中止。</p>
浜田	<p>○医療連携・保健福祉との連携等について学習してもらうため、医学生(1~6年生)を対象に、地域医療実習を計画。8月は22~24日に実施。3月は13~15日に実施予定である。実習機関先は、浜田医療センター、済生会江津総合病院、西部島根医療福祉センター、浜田市国保診療所。(保健所)</p> <p>○浜田医療センターから精神科研修の受け入れ。(西川病院)</p> <p>○地元の高校生を対象に実習の受け入れや触れ合う機会を作り、医療系職種に関心を高める取り組みを進めている。(済生会江津総合病院)</p> <p>○中学、高校、大学生、専門学校の学生による医療職実習(体験実習も含む)を受け入れている。(西部島根医療福祉センター)</p> <p>○市内の小中学校で地域医療教育を実施した。国民健康保険診療所では小中学校の見学の受け入れ、中高生の医療体験実習を実施した。中高生が現役の医師や看護師、医学生・看護学生等と交流ができるよう「医学系学生と話そう」を実施した。医学部や医師国家試験合格者に対して、合格を祝う会を実施した。地域卒学生や地元出身学生に対しては、浜田市の医療の現状を発信した。国保診療所においては、島大や鳥大から地域医療実習を受け入れた。また、総合医育成のために、浜田医療センターと「総合診療研修プログラム」及び学会認定の「家庭医療専門研修プログラム」を作成し、受け入れ準備はできている。(浜田市)</p> <p>○地域医療教育推進事業の活用。(江津市)</p>
益田	<p>○津和野共存病院へR1年度から自治医科大学卒業の医師及び島根大学からの医師が派遣されている。</p> <p>○関係機関が連携し、地元出身の医療従事者の確保のため、地域卒推薦学生を積極的に支援している。</p> <p>○市町ごと、圏域合同で、管内市町出身の医学生を対象として意見交換会を開催。</p> <p>○保健所では、益田圏域の地域医療について医学生に関心を持ってもらう機会とするため、春と秋の地域医療実習を管内医療機関と協力し受け入れている。</p> <p>○将来、益田市の医療を担う志を持った学生に対し、奨学金の貸し付けを行った。【益田市】</p> <p>○中学生については、医療現場体験実習を医療機関、市、教育委員会と連携して、実施する予定であったが、市内のコロナ感染拡大を踏まえ中止とした。【益田市】</p>

	○地域医療教育推進事業は、今年度も全ての小中学校で実施した。各学校それぞれで内容を考え取り組んでもらっている。【益田市】
--	--

#### (4) 地域で勤務する医師の支援

雲南	○啓発用パンフレット・広報誌の発行 ＜がんばれ雲南病院市民の会、奥出雲町地域医療確保推進協議会＞
浜田	○済生会江津総合病院の整形外科医師が令和3年3月出た移植となり、江津市から派遣要請があり、令和4年度から整形外科医師を済生会江津総合病院へ派遣している。 (浜田医療センター)
益田	○平成27年度、28年度に、益田赤十字病院と益田地域医療センター医師会病院・津和野共存病院・六日市病院がそれぞれ2医療機関間で、「連携協定」を締結し、患者紹介、診療の相互協力・支援、研修、人材育成等の医療連携を進めている。また、令和3年度には、益田赤十字病院と松ヶ丘病院とも医療機能連携協定書を締結している。 ○津和野町と益田赤十字病院がR1,5月地域医療連携協定を締結。人材確保等の取組を進めている。 ○市町との医療行政関係者連絡会や益田地域病院長等連絡会議において、圏域全体での医師確保およびサポート体制について協議し連携した取組みを実施している。 ○「益田の医療を守る市民の会」「津和野町の医療を守り支援する会」活動の支援を行い、医療機関の適正受診等の啓発活動を支援している。 ○コロナ禍で活動が制約される中、広報誌を発行することにより、医療に関する情報の提供に努めた。【益田の医療を守る市民の会】

### 3. 看護職員を確保する施策の推進

#### (1) 県内進学促進

雲南	○啓発用パンフレット・広報誌の発行（再掲） ＜がんばれ雲南病院市民の会、奥出雲町地域医療確保推進協議会＞ ○将来の医療従事者の確保を目的とした小中学校への補助金の交付（地域医療教育推進事業補助金）。（再掲） ＜奥出雲町＞ ○小中高校生の職場体験、見学の実施。（再掲） ＜町立奥出雲病院＞ ○高校進学ガイダンス ＜看護協会雲南支部＞
浜田	○医療職についての知識を深めてもらうために、医療に関する講演会を浜田市の浜田高等学校と江津市の石見智翠館高校・江津高等学校の生徒を対象に開催しようと学校に呼びかけ。浜田高校と江津高校の医療系を希望する高校生に対して、圏域医療従事者を招いて医療看護講演会を実施した。（保健所） ○中学校への進路説明会。（訪問看護ステーション協会） ○准看護学校の運営。（浜田市医師会） ○令和5年度以降の附属看護学校について存続または廃止かの方向性を示すよう機構本部より指示があるが、存続させる方向性として浜田市や県と情報共有しながら取組をしている。（浜田医療センター）



益田	○訪問看護スタッフの求人を行っている。福祉教育、職場体験を中学校で実施。【吉賀町訪問看護】
----	---

(2) 県内就業促進

雲南	○広報誌によるPR。 ＜看護協会雲南支部＞
隠岐	○県庁と隠岐保健所でインターンシップを実施。県内看護大学保健師志望者を受け入れた。

(3) 離職防止・再就業促進

雲南	○広報誌によるPR。 ＜看護協会雲南支部＞
出雲	○島根県看護協会主催の「圏域別看護関係者連絡会議」に参画し、看護職員確保・定着のための情報交換と連携推進を行った。

(4) 資質向上

浜田	○訪問看護出向事業研修の受け入れ。(訪問看護ステーション協会)
----	---------------------------------

〈周産期医療〉

1. 周産期医療ネットワーク

松江	<p>○地域周産期母子医療センターである松江赤十字病院と連携し、松江圏域周産期医療連絡協議会等を開催し、松江圏域における周産期医療に関する課題等を協議、検討し、医療機関、行政等の連携推進を図っている。</p> <p>松江圏域周産期医療連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会</li> <li>・関係機関連絡会</li> <li>・看護連絡会</li> </ul>
隠岐	<p>○周産期医療体制の協議の場として「松江圏域周産期連絡協議会」へ参画。また、隠岐圏域での検討の場として、「隠岐圏域周産期医療検討会」を開催。</p>

2. 中核となる医療機関と地域周産期医療関連施設における機能分担と連携の推進

松江	<p>○松江圏域周産期医療連絡協議会では、隠岐圏域・雲南圏域を含めた連携体制について検討している。</p> <p>○松江圏域周産期医療連絡協議会等において、情報交換を行うなど連携を推進している。</p>
雲南	<p>○引き続き周産期医療体制の充実と連携を図る。</p> <p>分娩件数 R3年度：129件 R4年度：121件（見込）</p> <p>&lt;雲南市立病院&gt;</p>
出雲	<p>○保健所は周産期医療ネットワーク連絡会に参加し、周産期医療調査・搬送調査からの課題や各医療機関の現状について把握。</p>
浜田	<p>○浜田圏域周産期医療連携体制検討会を開催し、圏域における周産期の課題や連絡票の活用状況について共有し、今後の連携体制のあり方について検討していく。（保健所）</p> <p>○セミオープンシステム（診療所1カ所、分娩2カ所）を運用し、市の窓口での紹介・パンフレットの配布により周知を図っている。（保健所）</p>
益田	<p>○地域周産期母子医療センターである益田赤十字病院において、出雲部の医療機関と連携して周産期医療の提供が行われている。</p> <p>○搬送時の情報提供書（母体・新生児各搬送連絡票）を県内で統一し、迅速な情報共有が可能になっている。</p> <p>○益田赤十字病院と津和野共存病院でセミオープンシステムが取られており、鹿足郡に住む妊婦や鹿足郡で就職している妊婦が身近な医療機関で妊婦健診を受けられる体制が整備されているが、令和2年度から都合により休止中。</p> <p>○特定妊婦等、支援が必要なケースについては、市町の要対協が中心となり支援会議が開催されており、参加している。</p> <p>○益田赤十字病院が開催する地域周産期母子保健医療連絡会に参画し、分娩医療機関と行政で連携を図っている。</p> <p>○益田地区救急業務連絡協議会及びメディカルコントロール部会に参画し、連携体制の強化・充実を図る。</p>

### 3. 医療従事者の確保

浜田	○済生会江津総合病院の常勤の産婦人科医師2名体制をR5年6月以降維持することが困難なため、浜田圏域周産期医療連携体制検討会で早急に検討していく。
益田	○島根県医師確保計画において圏域計画を策定。益田圏域は、産科医・小児科医が相対的医師少数区域である。 ○産婦人科医4名、小児科医3名、常勤麻酔科医1名体制で、周産期医療に対応。【益田日赤】

### 4. 医師と助産師間の連携

松江	○助産師外来、院内助産の導入 マザリー産婦人科：助産師外来、院内助産 たがしらレディースクリニック：助産師相談室 松江赤十字病院：助産師外来、院内助産
益田	○益田赤十字病院で、院内助産に取り組まれている。

### 5. 搬送体制の強化

出雲	○保健所は周産期症例検討会や周産期医療ネットワーク連絡会での症例検討を通して、ドクターヘリの運用や搬送先について把握。
益田	○益田赤十字病院に配置されている周産期ドクターカー、ドクターヘリにより搬送が行われている。
隠岐	○周産期医療検討会を開催し、隠岐圏域の医療機関の搬送状況を把握し検討。

### 6. 妊産婦の健康管理の充実

松江	○松江圏域周産期医療連絡協議会全体会及び看護連絡会において、妊産婦への支援について検討を行っている。 ○看護連絡会では、産科医療機関・市町村での妊産婦支援の状況について意見交換した。主に、多胎児の支援や産後ケアの状況について情報共有した。 ○両市ともに、母子健康包括支援センターを設置しており、母子手帳発行時に、全ての妊婦に対し保健師が面談し、ハイリスク妊婦を早期に把握し支援できる体制となっている。 ○市町村、産科医療機関は共通の質問票を活用している。 ○産科医療機関では産後の2週間健診が開始となり、より産後早期に医療機関と行政が連携し支援ができる体制となっている。 ○松江圏域周産期医療連絡協議会において、妊産婦のメンタルヘルス対策について情報共有等行っている。
雲南	○各種母子保健の取り組み ・妊産婦健康診査の実施 ・産前産後サポート事業、産後ケア事業 ・周産期医療機関との連携 外 ＜各市町＞ ○子育て世代包括支援センターの設置（連携含む）。 ＜各市町＞

	<p>○妊産婦への保健指導、メンタルヘルス対策。 （産後うつチェックの実施、育児不安に対する支援） ＜各市町＞</p>
出雲	<p>○市において、「出雲市母子健康包括支援センター（きずな）」での切れ目ない支援を実施。</p> <p>○令和3年度より、新型コロナウイルスに感染した妊産婦に対する寄り添い方支援事業を通して、電話相談や家庭訪問等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度：3件</li> <li>・令和4年度：1件</li> </ul> <p>○市や産科医療機関において、妊婦・産婦に対して質問票やアセスメント票を活用。</p> <p>○市において、令和4年度より家事育児訪問サポート事業を新規実施。</p> <p>○産後ケア事業として、訪問型に加え、令和4年度より通所型、宿泊型も新たに利用可能となった。</p>
大田	<p>○管内全市町で子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から切れ目のない支援を提供。</p> <p>○圏域の「フォローが必要な妊産婦等保健指導連絡事業」により、妊娠期から医療機関と行政が連携を図り、妊産婦等への支援を実施。</p> <p>○管内全市町で産後ケア事業を実施。</p> <p>○妊婦健診で精密検査（糖尿病）が必要な者には、精密検査の受診券の受取に合わせて保健指導を実施。</p> <p>○管内全市町で妊婦の歯科健診を実施。</p>
浜田	<p>○両市ともに妊婦歯科健診を実施している。令和3年3月4日浜田圏域歯科保健連絡調整会議にて状況を確認予定。（保健所）</p> <p>○浜田圏域周産期医療連携体制検討会開催にて取組状況確認した。（保健所）</p> <p>○助産師による保健指導の一環として、妊娠時期に応じた体調管理や出産・育児に向けた相談に応じるなど個別のサポートを行っている。（浜田医療センター）</p> <p>○産後質問票を活用し、ハイリスク者には市と連携した支援を行っています。（済生会江津総合病院）</p> <p>○母親教室、子育て相談・助産外来を活用し、母乳ケア、生活の相談、育児の相談など妊娠中から支援しています。（済生会江津総合病院）</p> <p>○浜田市、江津市共に、子育て世代包括支援センターを設置し、切れ目のない子育て支援に努めている。（浜田市・江津市）</p>
益田	<p>○益田赤十字病院が開催する地域周産期母子医療保健連絡会にて、行政と医療の連携を図っている。</p> <p>○全市町で14回の妊婦健診が公費負担対象となっている。また、津和野町、吉賀町は、妊婦健診通院交通費を全額助成している。</p> <p>○益田赤十字病院では妊婦・褥婦全員にEPDSを実施しており、気になるケースについては病院のMSWを通して速やかに市町につないでいる。妊産婦通院助成及び、妊産婦通院サポート事業の実施。【津和野町】</p> <p>○益田赤十字病院と「ハイリスク妊産婦連携指導カンファレンス」を2ヶ月に1回開催し、精神疾患を有する妊婦が安心して出産でき、出産後フォローもできるように取り組んだ。【松ヶ丘病院】</p>

	<p>○3市町で子育て世代包括支援センターが開所され、産前から切れ目ない支援を実施している。</p> <p>○吉賀町では産前・産後サポート事業、3市町で産後ケア事業などを展開し、出産後も切れ目ない支援が受けられる体制が整えられつつある。</p> <p>○吉賀町では、助産院が令和2年度開院された。</p> <p>○外国人対応（定期訪問や母国語の資料活用）【吉賀町】</p> <p>○H30年度から松ヶ丘病院や行政とハイリスク妊婦会議を開催して連携を図っている。</p> <p>○益田日赤と「ハイリスク妊産婦連携指導カンファレンス」を2ヶ月に1回開催し、精神疾患を有する妊婦が安心して出産でき、出産後もフォローできるように取り組んだ。【松ヶ丘病院】</p> <p>○産前産後サポートや産後ケア実施【吉賀町】</p>
隠岐	<p>○「隠岐圏域母子保健担当者連絡会」にて、子育て包括支援センター設置から2年経過した現在の様子を各町村へ確認し、現在の運営状況を把握。また、同連絡会において、令和6年度よりこども家庭センター設置されることに関しての進捗状況や、母子保健・福祉の連携状況、ハイリスク妊婦把握の様子について確認。今後体制整備の支援へつなげる。</p> <p>○令和4年度より、隠岐圏域全町村で産前・産後サポートに関する支援が整い、産後のケア事業が実施となった。</p>

## 7. 地域住民への啓発

松江	<p>○「母性健康管理指導事項連絡カード」に関するチラシ、ポスターを掲示している。</p> <p>○「島根県の周産期医療体制ネットワーク体制」に関するチラシを窓口に設置している。</p>
浜田	<p>○浜田圏域働く人の健康づくり情報ファイルに働く女性の支援に関する情報を掲載し、地域社会や事業所での理解の促進を図っている。（保健所）</p>

## 8. 重症児等の支援

松江	<p>○医療的ケア児について、医療機関や訪問看護ステーションから連絡票をもらい、連携している。</p> <p>○長期療養児等の家族交流会や自主グループ活動の支援を行うとともに、松江市・安来市に活動等の情報提供を行い、連携して支援している。</p>
雲南	<p>○個別支援の取組み。          &lt;雲南保健所ほか関係機関&gt;</p>
出雲	<p>○支援ファイルや災害時個別支援計画の新規作成・随時更新を関係者とともに実施。</p> <p>○医療依存度の高い在宅療養児生活支援検討会の開催について、令和4年度は実施無し。</p> <p>○令和3年度より、年度初めと年度末に相談支援事業所を訪問し、ケースの情報や地域の課題等について共有</p>
大田	<p>○在宅療養児に対し、関係機関と連携した支援を実施。</p> <p>○災害発生時の対応、訓練の実施について、家族・支援者で検討。</p>

益田	<p>○医療的ケアが必要であったり、退院後も支援が必要な場合は病院や市町から保健所に情報提供があり、退院前若しくは退院直後から訪問等により支援をしている。</p> <p>○医療機関や市町と支援会議を重ね、連携を取りながら支援体制づくりをしている。</p> <p>○個別ケースの災害時対応マニュアルを更新している。</p>
----	--

## 9. 災害時の体制

松江	○人工呼吸器装着患者には、個別の災害対応マニュアルを作成している。
大田	○医療的ケア必要児の災害時を想定した対応マニュアルの更新。
浜田	<p>○医療機関からの情報提供に基づき関係機関と連携体制を組み、個別ケースへの支援をしている。(在宅療養支援ファイルの作成及び活用)(保健所)</p> <p>○個別ケースを通し、社会資源やサービスについての課題を共有、検討している。(保健所)</p>

〈小児救急を含む小児医療〉

松江	○人工呼吸器装着患者には、個別の災害対応マニュアルを作成している。
雲南	<p>○島根大学医学部との診療支援に係る連携。          &lt;飯南町立飯南病院&gt;</p> <p>○救急告示病院の取組み。          &lt;各救急告示病院&gt;</p> <p>○在宅当番医の取組み。          &lt;奥出雲町、雲南医師会&gt;</p> <p>○小児の急病時の対応等に関するパンフレット配布。          &lt;各市町&gt;</p>
浜田	<p>○小児医療が継続できるように医師確保の取組みを行っている。(浜田医療センター)</p> <p>○令和3年7月に常勤小児科医の確保ができたが、令和4年再び常勤医が不在となった。大学からの派遣の非常勤医師により外来診療を行っている。(済生会江津総合病院)</p> <p>○浜田市直営の休日応急診療所を管理運営。(浜田市)</p> <p>○発達障害・乳児股関節健診、障がい児・小児整形の診察、学校検診(股関節)による早期発見、早期治療。(西部島根医療福祉センター)</p>
益田	<p>○小児科医3名体制を維持。【益田日赤】</p> <p>○益田市では、H21年3月に整備された益田市休日応急診療事業で、鹿足郡ではH31年3月在宅当番医制を廃止し、津和野共存病医院、六日市病院が対応している。</p> <p>○益田市では「益田の医療を守る市民の会」と協力して、救急のかかり方について啓発に取り組んでいる。</p> <p>○益田市と津和野町では、24時間体制の健康ダイヤルを実施。</p>

〈在宅医療〉

1. 退院支援

<p>松江</p>	<p>○在宅で喀痰吸引が必要な対象者については、介護支援専門員、相談支援専門員及び登録特定行為事業者と連携をとり在宅の療養の体制の整備を個々のケース毎に行っている。R4年度在宅での喀痰吸引を新規に実施し在宅療養開始となったケースは3ケース。</p> <p>○松江市において入退院連携ガイドラインを作成し、病院、関係機関に周知をしている。</p>
<p>雲南</p>	<p>○地域医療連携室の取組み。</p> <p>○地域包括ケア病床の運用。          &lt;各病院&gt;</p> <p>○介護医療院の運営。          &lt;町立奥出雲病院&gt;</p> <p>○摂食嚥下障害患者の口腔ケアに係る福祉施設の支援。          &lt;飯南町立飯南病院&gt;</p> <p>○地域ケア会議等による課題の共有。          &lt;各市町ほか関係機関&gt;</p> <p>○多職種連携意見交換会（吉田・掛合地区）</p> <p>○多職種連携ネットワーク研修会（歯科連携、ACP等）。          &lt;雲南市&gt;</p> <p>○入退院連携マニュアルの活用等による連携体制構築。          &lt;各市町ほか関係機関&gt;</p>
<p>出雲</p>	<p>○出雲市介護保険運営協議会へ委員として参画し、現状と課題の検討や情報共有等を行うことにより、医療と介護の連携を図った。</p> <p>○出雲市では、関係機関と作成した「出雲市入退院連携ガイドライン」をR3.4月から運用している。入退院支援における連携の充実のため、評価のための支援が必要。</p>
<p>浜田</p>	<p>○「浜田市入退院支援マニュアル（H30）」を基に、圏域版を作成（R2）し活用を図っている。（保健所）</p> <p>○入院支援センターを拡充し、専任看護師長を配置しており、スムーズな退院支援を行い、在宅医療への移行を進めている。（浜田医療センター）</p> <p>○痰吸引、経管栄養研修用シミュレーターの貸出により、施設介護職員の研修支援を行っている。（保健所）</p>
<p>益田</p>	<p>○保健医療対策会議 医療・介護連携部会を中心に、地域医療構想に基づく圏域病床機能について検討を進めている。</p> <p>○5病院ともに入退院連携室職員の充実が図られている。</p> <p>○慢性期療養が圏域内で完結できない理由の一つに医療的ケアを提供できる体制が不十分であることが考えられ、喀痰吸引等必要な患者の受け入れ体制について状況把握を今後実施。</p> <p>○各市町、在宅医療介護連携推進事業の下で会議体を設置し、方向性を定めたり、進捗管理を行ったりしている。また、圏域内の3市町の担当者連絡会議を年に1回開催し、次年度の事業の方向性や当年度の成果について確認を行っている。</p> <p>○医療機関、訪問看護ステーション等でまめネット活用が進められている。</p>



	<p>○在宅医療介護連携に関するコア会議を毎月～隔月に1回行い、医療と介護の情報共有の仕組みについて検討した。また、在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、医療と介護の両面からの意見をいただき、取り組みに反映している。【益田市】</p> <p>○在宅医療・介護連携推進事業を医療法人に委託。切れ目のない在宅医療・介護サービスが一体的に提供されるよう、地域の医療・介護関係者の協力を得て体制整備を図るなどの施策を実施。【津和野町】</p> <p>○入退院時に医療機関と連絡をとり、まめネットも活用している。【吉賀町訪問看護】</p> <p>○各市町在宅医療介護連携推進事業において入退院時の情報共有のための仕組みづくりについて検討が進められている。また、市町レベルで解決が難しい課題（圏域内での療養を希望しながら圏域外で療養している患者への対応等）については、圏域内5病院の入退院連携関係者と市町の担当で構成された実務者会議において検討している。</p>
隠岐	<p>○県ガイドラインを参考に、「隠岐の島町入退院連携ツール」を作成した。</p> <p>○ツールの共有・活用促進を目的に、隠岐圏域多職種研修会を開催した。</p>

## 2. 日常の療養支援

松江	<p>○個別ケースの支援において、その都度必要な関係機関で集まり、情報共有や今後の支援について検討している。今年度は、2名就園に向けたケース検討を実施(予定)。</p>
雲南	<p>○多職種連携ネットワーク研修会(1-③のとおり)      &lt;雲南市&gt;</p> <p>○地域リハビリテーション活動支援事業の取組み。      (介護事業者の相談に応じた専門職員の派遣等)      &lt;各市町、各病院&gt;</p> <p>○施設、在宅での口腔ケア。</p> <p>○在宅重症難病患者一時入院支援事業の実施。      &lt;飯南町立飯南病院&gt;</p> <p>○在宅歯科医療推進対策事業</p> <p>○地域包括口腔ケア会議開催      &lt;雲南歯科医師会&gt;</p> <p>○在宅患者訪問薬剤管理等に対する体制整備。      &lt;島根県薬剤師会雲南支部&gt;</p> <p>○条件不利地への訪問診療を行う医療機関への支援。      &lt;奥出雲町&gt;</p> <p>○雲南地域保健医療対策会議の開催。      &lt;雲南保健所&gt;</p> <p>○在宅重症難病患者一時入院支援事業の実施。      &lt;飯南町立飯南病院&gt;</p> <p>○訪問看護の実施、充実による再発、悪化の防止。      &lt;奥出雲コスモ病院&gt;</p> <p>○各種研修会      (認知症対応力向上、高齢者の低栄養予防 等)      &lt;雲南歯科医師会&gt;</p>

	<p>○診察後の薬の配達。          &lt; 島根県薬剤師会雲南支部 &gt;</p> <p>○地域ケア会議、個別支援の取組み。          &lt; 各市町、雲南保健所ほか関係機関 &gt;</p>
出雲	<p>○「訪問看護ステーション出雲支部連絡会」(月1回開催)において現状等を情報共有し、必要に応じて支援している。また、この場において、コロナ関連の情報提供等を行った。</p> <p>○保健所が開催する「医療・介護連携専門部会」、出雲市が開催する「出雲市医療・介護連携推進連絡会議」において検討が進んでいる。</p> <p>○出雲市において、医療と介護が有機的に連携を図り、継続的な在宅医療と介護を一体的に提供するため、令和2年度末に「在宅医療・介護連携推進基本計画」(ルピナス計画)が策定され、取組が進んでいる。</p> <p>○医療依存度の高い在宅療養児生活支援検討会の開催について、令和4年度は実施無し。</p>
浜田	<p>○ACT(包括的地域生活支援プログラム)チームによる訪問診療。(西川病院)</p> <p>○浜田市訪問看護ステーション支援事業補助金活用による条件不利地域への訪問看護の提供。(訪問看護ステーション協会浜田支部)</p> <p>○例年、圏域の入退院支援、看取り、緩和ケア等日常の療養支援における課題などを、現場レベルのワーキングにおいて検討し、医療介護連携部会に報告している。(保健所)</p>
益田	<p>○急性期から回復期、維持期と切れ目ないリハビリテーションの提供・医療介護サービスが相互に連携多支援を推進するため、「益田圏域生活療養ノート」を活用している。益田地域医療センター医師会病院のリハ科を中心に年間約200件程度発行されている。【再掲】</p> <p>○在宅歯科診療の普及啓発のために、「歯の往診ほっとらいん」0852-27-8020(島根県歯科医師会)の周知に努めている。【益鹿歯科医師会】</p> <p>○医療介護総合確保基金市町村支援事業の「訪問看護支援事業」を中山間地における訪問看護師の運営面の補助として活用している。</p> <p>○訪問看護ステーション協会益田支部会を開催し、R4年度は訪問看護情報提供書の見直しに取り組んでいる。</p> <p>○訪問看護師や訪問看護に興味がある看護師、施設看護師を対象に研修会を開催した。【島根県訪問看護ステーション協会益田支部】</p> <p>○益田地域医療センター医師会病院は、特定行為研修を終了した看護師を育成し、現在5人の特定看護師が活動している。病棟及び隣接する老人保健施設だけでなく、退院後訪問の実施等、在宅支援の取組への広がりが期待される。</p> <p>○保健医療対策会議 医療介護連携部会において、益田市医師会が実施した施設における看取りの実態把握アンケートの結果を参加者で共有し、益田圏域の施設での看取りの実績や加算算定状況について把握した。また、委員からは要介護度が低い方が圏域内で療養できないため、圏域外への人口流出に繋がっているという意見があげられた。</p>

	<p>○医療連携推進コーディネーター配置事業による「在宅医療に関する医師の意見交換会」を開催し、救急対応の面で、消防本部、急性期病院、医師会の各立場から活発な議論を行った。【益田市医師会】</p> <p>○医療的ケアが必要であったり、退院後も支援が必要な場合は医療機関や市町と支援会議を重ね、連携を取りながら支援体制づくりをしている。</p>
--	---

### 3. 急変時の対応

雲南	<p>○訪問診療、訪問看護の取組み。          &lt;各病院、雲南医師会ほか関係機関&gt;</p>
益田	<p>○令和2年度より、益田市医師会は、休日夜間に開業医・施設医が不在の時に入院受け入れがしやすいように後方支援病院となり、現在68件の登録があり、令和3年度（4月～10月実績）は、延20人の利用があった。</p> <p>○益田市医師会ではR3.4から施設の看取り代診医システムが稼働。スムーズな活用につながるよう、研修会の開催が予定されている。</p> <p>○在宅看取り患者の急変時対応について、在宅医と急性期病院医師、消防署との意見交換会が開催された。</p> <p>○各ステーションで、急変や看取りの対応のために、24時間の連絡や対応ができる体制をとっている。【島根県訪問看護ステーション協会益田支部】</p>

### 4. 看取り

松江	<p>○松江市では松江市医師会、市内の病院、訪問看護ST、介護支援専門員協会、終活カウンセラー等によるACP普及・啓発推進協議会によりACPの普及啓発について検討し、公民館等での市民講座、終活支援ノートの出前講座、ACP啓発動画を作成。</p>
雲南	<p>○「看取り」に関する各事業者の取組み。          （研修への参加、主治医・協力病院との連携）          &lt;雲南地域介護サービス事業管理者連絡会&gt;</p> <p>○多職種連携ネットワーク研修会          &lt;雲南市&gt;</p> <p>○研修の実施「看取りと訪問診療」。          &lt;雲南地域介護支援専門員協会&gt;</p>
大田	<p>○昨年度実施した「医療介護連携に関する調査」について、大田市立病院等と共催で開催した研修会で好事例と伴に共有（2/8予定）。</p>
浜田	<p>○浜田市、江津市が実施する在宅医療介護推進事業における多職種研修会において人生の最終段階における連携、意思決定支援について事例をもとに検討されている</p>
益田	<p>○各市町の地域支援事業の取組の一環として、ACPについての普及啓発の取組が進んでいる。益田市では、昨年度に引き続き11月をACP普及啓発月間と定め、益田市医師会作成の啓発パンフレットなどを利用しながら、住民への啓発を行った。保健所では、これにあわせて、益田市医師会と協力し、ケーブルビジョン向けACP啓発番組を製作、放映した。</p> <p>○津和野町では、ACP啓発の一環として、フィナンシャルプランナーによるセカンドライフプランニングについての講演会が開催された。</p>

	<p>○吉賀町では、昨年度津和野町で上映された在宅医療についての映画を、関係者向けに上映した。また、六日市病院内に設置されている ACP 推進チームの取り組みについて紹介する研修会の開催を予定している。</p> <p>○在宅医療介護連携推進事業により圏域の多職種研修会を開催し終末期についての講演や地域住民へのあんな座談会を行い ACP の普及啓発を行った。【益田市医師会】</p> <p>○「もしもの時のために」(ACP 歯科編) のチラシを作成中。【益田鹿足歯科医師会】</p> <p>○11 月に人生会議普及啓発月間として、市民講座の開催や関係機関にポスターなどを掲示してもらい、市民への周知啓発を図った。【益田市】</p>
--	---

## 5. 在宅における連携体制の構築

松江	<p>○松江市在宅医療・介護連携支援センター、松江市担当課との連絡会を実施（月 1 回程度）。</p> <p>○R4. 12. 26 松江地域保健医療対策会議 医療・介護部会を開催し、誤嚥性肺炎を中心に病病連携の確認、介護施設、在宅医療での予防対策について引き続き継続することを確認した。</p>
雲南	<p>○在宅医療介護連携支援センターの取組み。</p> <p>○地域ケア会議等による課題の共有。 ＜各市町ほか関係機関＞</p>
出雲	<p>○出雲市が開催する地域ケア個別会議に参加し、自立に向けた支援や地域課題抽出のための検討について支援している。</p> <p>医療・介護連携専門部会を開催し、医療機能分担や連携の在り方について検討を深めた。(12/13)</p> <p>○出雲医師会開催の在宅医療懇話会（2 か月に 1 回開催）は、新型コロナの感染拡大により Web 開催され、保健所も参加し連携して取り組みを進めている。</p>
大田	<p>○医療連携推進コーディネーターとの意見交換を実施。</p>
浜田	<p>○多職種研修会を実施した。（浜田市、江津市）</p> <p>○医療・介護シートを活用した。（浜田市）</p> <p>○国民健康保険診療所において、へき地の在宅医療を提供。（浜田市）</p> <p>○江津市医師会在宅連携推進コーディネーター事業の推進。（江津市医師会）</p> <p>○国民健康保険診療所において、へき地の在宅医療を提供。（浜田市）</p> <p>○江津市医師会在宅連携推進コーディネーター事業の推進。（江津市医師会）</p> <p>○「地域包括口腔ケア会議」を開催し、口腔ケア等の諸問題を多職種間で情報交換等している。（浜田江津歯科医師会）</p> <p>○浜田圏域外の施設も含め地域連携が強化されるよう、様々な会合に積極的に参加するようにしている。（浜田医療センター）</p> <p>○江津市から「在宅医療・介護連携支援センター」を受託し、関係機関からの相談等に対応しています。（済生会江津総合病院）</p> <p>○江津市医師会から「医療連携推進コーディネーター事業」を受託し、病院内にコーディネーターを配置、市内の訪問診療提供体制の維持・拡大に取り組んでいます。（済生会江津総合病院）</p>

	<p>○浜田地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会を開催(令和4年12月22日)。医療連携推進コーディネーター事業や各市の在宅医療連携推進事業の取組について、関係機関間の情報共有を行った。(保健所)</p>
益田	<p>○石西地域振興課、益田教育事務所、中山間地域研究センターと連絡会を定期開催し、県所属機関内部で連携した上で、市町や関係者と関わっていく体制が整った。</p> <p>○在宅医療・介護連携推進事業を医療法人に委託。切れ目ない在宅医療・介護サービスが一体的に提供されるよう、地域の医療・介護関係者の協力を得て体制整備を図るなどの施策を実施。【津和野町】</p> <p>○保健医療対策会議・医療介護連携部会において、益田市医師会が実施した施設における看取りの実態把握アンケートの結果を参加者で共有し、益田圏域の施設での看取りの実績や加算算定状況について把握した。また、委員からは要介護度が低い方が圏域内で療養できないため、圏域外への人口流出に繋がっているという意見があげられた。【再掲】</p> <p>○益田市在宅医療・介護支援センター(益田市医師会委託)、津和野町在宅医療・介護支援センター(橘生堂委託)、吉賀町社会福祉協議会の事業に関する会議に参画し、情報提供等を行っている。</p> <p>○地域医療介護総合確保基金活用事業への支援 病床機能分化に向けた医療連携推進コーディネーター事業を益田市医師会が実施し、支援している。</p> <p>○益田市在宅医療介護連携支援センターを中心に各種研修会を実施し地域や関係機関との連携を図った。【益田市医師会】</p>
隠岐	<p>○各町村の在宅医療・介護連携推進に関する会議に参加。</p> <p>○隠岐広域連合の地域包括ケア推進に関する会議に参加し、隠岐圏域の現状・課題の共有。</p>

〈その他〉

<p>松江</p>	<p>○R4. 12. 26 松江地域保健医療対策会議 医療・介護部会を開催し、公的病院強化プラン作成の主旨を説明し、松江市立病院、安来市立病院の計画策定状況について共有した。</p> <p>○R4. 12. 26 松江地域保健医療対策会議 医療・介護部会で R3 年 1 月に松江市病病連携推進会議が策定したリーフレット「医療機能の役割を知っていますか」を活用し、参加機関からの啓発確認たリーフレットを所属機関内に周知し、市民啓発に協力することを確認した。R5. 3. 15 松江地域保険対策会議（全体会）で住民団体に医療・介護部会報告を行う予定。</p>
<p>雲南</p>	<p>○雲南地域保健医療対策会議の開催。          &lt;雲南保健所&gt;</p> <p>○地域医療連携推進法人の取組み。          &lt;雲南市立病院、町立奥出雲病院&gt;</p> <p>○救急連絡会議の開催。          &lt;雲南市立病院ほか関係機関&gt;</p> <p>○啓発用パンフレットの作成。          &lt;がんばれ雲南病院市民の会&gt;</p> <p>○医療安全相談事業の取組み。          &lt;雲南保健所&gt;</p>
<p>出雲</p>	<p>○医療・介護連携専門部会を開催し、医療機能分担や連携の在り方等について下記の内容を検討した。(12/13)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各病院の 2025 年に向けた対応方針を情報共有</li> <li>・在宅医療と介護の連携について検討</li> <li>・地域医療構想の必要病床数と病床機能報告を比較すると、高度急性期・急性期病床が多く回復期病床が少ない状況となっており、圏域の需要を見極めながらさらに議論を深めていくことが求められている。</li> </ul> <p>○医療安全相談窓口専用ダイヤルを設置し運用している。          相談件数：(H30 年度：30 件、R 元年：25 件、R 2 年度：44 件、R3 年度：27 件、R4 年度：25 件 (R5 年 1 月 13 日現在))</p>
<p>大田</p>	<p>○大田市担当課との情報交換会実施。</p> <p>○医療介護連携部会の開催 (3/1 開催予定)。          圏域の病床機能の状況について・公立病院経営強化プランの策定状況について</p> <p>○大田圏域保健医療対策会議の開催 (3/1 開催予定)。          大田圏域保健医療計画の進捗状況について・地域医療構想の進捗状況について</p> <p>○医療連携推進コーディネータ配置事業における取組みについて、定期的に情報共有、意見交換を実施。</p> <p>○邑南町地域医療構想推進委員会への参画。</p> <p>○まめネットを各種会議の WEB 会議で積極的に利用、所内の施設整備実施。</p> <p>○まめネットにより大田市内居宅支援事業所等で介護認定の情報交換を実施。</p> <p>○医療法の立入検査時に指導 R3 新規開設 1 箇所(2/6 予定)。</p> <p>○医療相談電話等で随時対応 3 件。</p>

<p>浜田</p>	<p>○令和4年7月22日浜田医療センター、済生会江津総合病院事務部長等連絡会を実施し、新型コロナウイルス感染症にかかる体制及び医療法の改正、第8期保健医療計画等について現状の共有と意見交換を行った。</p> <p>○令和4年12月22日に「浜田圏域保健医療対策会議 医療・介護連携部会」を開催。圏域の病床の状況、外来機能報告について、有床診療所の開設について、在宅医療・介護連携について（浜田市・江津市の在宅医療介護連携推進事業、医療連携推進コーディネーター配置事業）現状、課題の共有と審議を行った。</p> <p>○令和4年8月 医療介護連携部会の書面審議として、西川病院から申請の島根県医療介護総合確保促進基金における医師確保計画推進に関する支援事業費補助金の審議を行い圏域合意を得た。</p> <p>○済生会江津総合病院、江津市医師会、能美医院と設立をした「地域医療連携推進法人メディカルネットワーク」を活用し、江津地域における医師確保等、必要最低限の医療を提供するための取り組みを進める。（済生会江津総合病院）</p> <p>○地域の医療従事者を対象とした研修を開催。 慢性腎臓病患者におけるお薬手帳へのCKDシール貼付の運用。（浜田医療センター）</p> <p>○診療情報等の診療情報提供の積極的提供。 （済生会江津総合病院）</p> <p>○地域啓発イベント「こころの保健室 in 浜田」（西川病院）</p> <p>○救急医療に関する連絡会議を圏域外の消防や保健所にも情報共有をしながら行った。</p> <p>○まめネットの普及状況としては、令和4年12月末時点で、浜田市の接続数が74。江津市の接続数が20。浜田市内の機関が少し増加している（保健所）</p> <p>○まめネットカード発行枚数としては、令和4年12月末時点で、浜田市が4,694枚、江津市が2,590枚と増加している。（保健所）</p> <p>○広報誌によりまめネットカードを周知した。（浜田市）（江津市）</p> <p>○まめネットの活用（訪問看護）</p> <p>○地域包括ケアシステムの構築を進めるため「まめネット」の提供情報を拡大し、医療機関、介護施設等との連携を深めることとしている。（済生会江津総合病院）</p> <p>○浜田の地域医療を守る会の活動サポート。浜田市内の医療機関情報をホームページに掲載。（浜田市）</p> <p>○医療に関する相談を医療安全相談窓口で対応し、関係部署と連携を図り、適切な対応に努めている。【R4.1.27現在、相談者人数15件】（保健所）</p> <p>○外国人が安心して医療が受けられるよう多言語案内板やタブレット活用等環境整備を行った。（済生会江津総合病院）</p>
<p>益田</p>	<p>○益田圏域保健医療対策会議及び同医療・介護連携部会において、圏域地域医療構想の進捗について検討を進めている。</p> <p>益田地域医療センター医師会病院は、R2年279床からR3年10月より253床となり、地域包括ケア病床を2階に集約した。</p> <p>六日市病院では、R3年度で六日市学園が閉校した関係で看護師が徐々に減少することが予想される。また、併設する老人保健施設の定員を縮小するとともに、R4年度10月より、療養病床11床減少して運用している。</p> <p>吉賀町における地域医療確保に向けた検討が続いている。</p>

	<p>○益田市医師会が助成を受けている「地域医療介護総合確保基金」の「病床の機能分化に向けた医療連携推進コーディネーター配置事業」実施について、益田市医師会、益田市、保健所が協議しながら進めている。</p> <p>○益田市医師会が実施している管内医療連携実務者会議では、圏域の入退院連携の課題について情報交換がされている。R4年度は2回開催予定で、入退院連携、療養病棟利用患者の圏域外への流出への対応(Emitas-Gによる現状把握)等について取り上げ、進捗確認や対応策の検討を行った。</p> <p>○地域内完結率の向上を目指し、かかりつけ医と連携強化を図った。【益田市医師会】</p> <p>○消防本部における、益田地区救急業務連絡協議会、県が実施する島根県ドクターヘリ調整委員会等において検討されている。</p> <p>○益田圏域は他圏域に比べ、普及率は低いですが、医療機関、訪問看護ステーション等で活用が進められている。</p> <p>益田圏域加入状況（R4年10月末現在）</p> <p>加入施設：27施設（病院5、診療所10、歯科診療所2、薬局4、訪問看護3、介護施設3）</p> <p>加入者：R4.10月現在4,542人（加入者は圏域人口の8.07%）全県は人口の10.44%</p> <p>○ホームページ上への病院指標の公開【益田日赤】</p> <p>○診療録の開示、まめネット参加者増加への取組【益田日赤】</p> <p>○まめネットの加入促進、MCSの利用を推進している。【益鹿歯科医師会】</p> <p>○津和野町コミュニティドクター等による、まめネット登録への呼びかけを実施。【津和野町】</p> <p>○まめネットの利用開始。【吉賀町訪問看護】</p> <p>○「益田市の医療を守る市民の会」「津和野町の医療を支援する会」や「がんサロン」等に求めに応じ支援をしている。</p> <p>○益田の医療に関する認識を深めるための啓発活動として、「ますだ健康ダイヤル24」を作成し、関係者に配布した。【益田の医療を守る市民の会】</p> <p>○当該年度の活動状況等を掲載したパンフレットを作成し、町内各戸配布する。【津和野町の医療を守り支援する会】</p> <p>○住民組織「津和野町の医療を守り支援する会」に対し、津和野町の医療状況等の情報提供を定期的に行っている。【津和野町】</p> <p>○島根県医療機能情報システムの更新を随時行い、住民からの問い合わせに活用するとともに、圏域の在宅医療・緩和ケア資源情報の整理にも活用している。</p> <p>○情報についての質問や相談について、保健所に設置されている医療安全相談窓口で対応している。</p> <p>○島根県医療機能システムの情報更新。【益鹿歯科医師会】</p> <p>○各機関等の開設時に適宜指導している。</p> <p>○住民からの苦情・相談について、内容を検討し、適切な対応に努めている。</p>
<p>隠岐</p>	<p>○隠岐病院・町立診療所医療連携体制検討委員会において検討されている「隠岐病院・町立診療所の一体的運用（R6実施予定）」について情報提供。病院・各診療所の役割分担、在宅医療体制の推進に向けて検討中。</p>



<p>○隠岐の島町・隠岐病院・隠岐広域連合・隠岐保健所で、実施している、入退院連携ワーキングにおいて、まめネット活用に関する学習会を開催。</p> <p>○実際に海士町で診療所・施設の看護師間でまめネットを活用しており、その活用状況を情報収集した。</p>
--